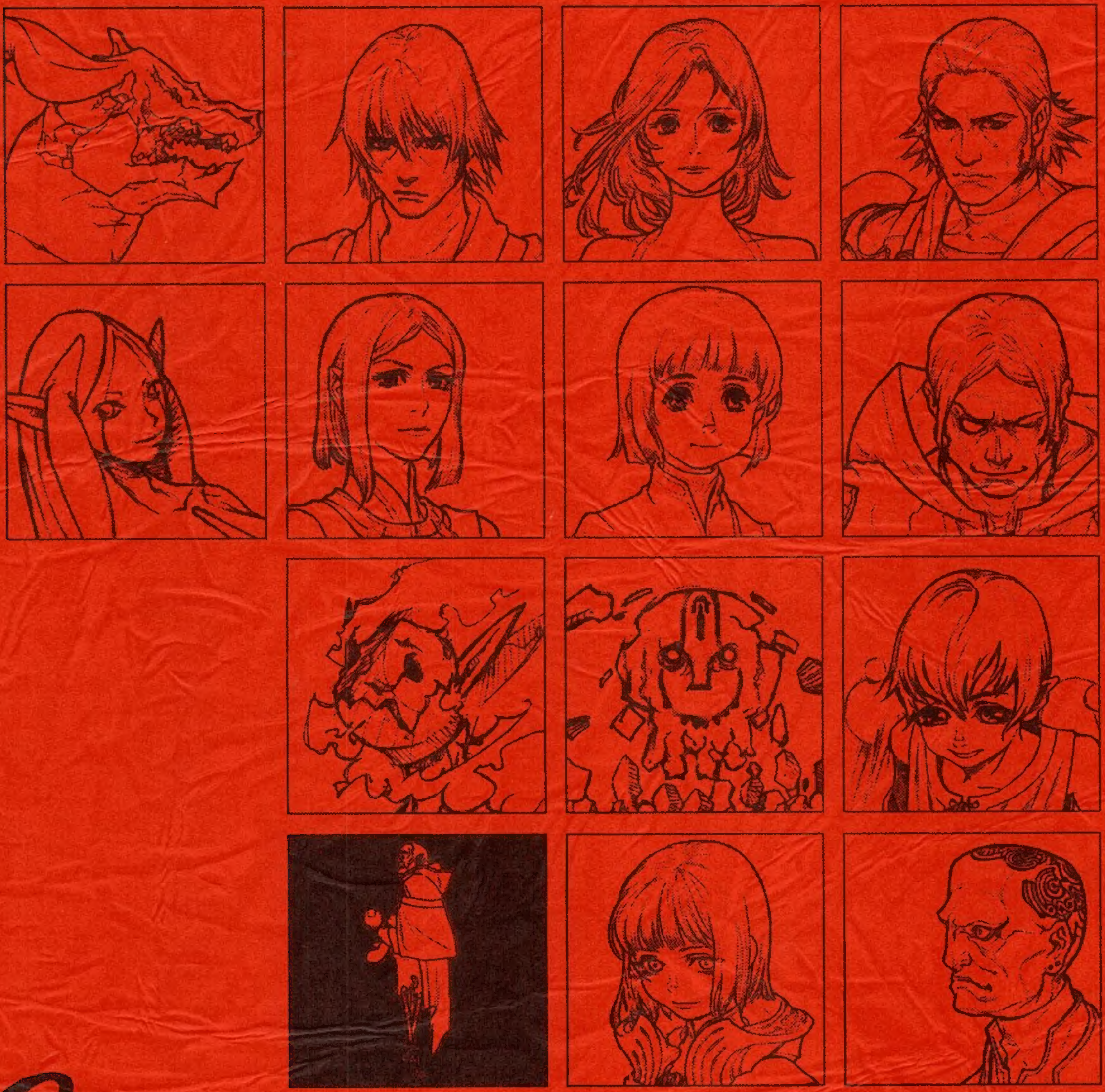
DRAG-ON DRAGOON™

ドラッグ オン ドラグーン

PlayStation2

プレイステーション2用ソフト「ドラッグオンドラグーン」「ウィンドウ 録音台本」



ENIX cavia

©cavia ENIX 2003 "PS" and "PlayStation" are registed trademarks of Sony Computer Entertainment Inc.

プレイステーション２用ソフト

「ドラッグオンドラグーン」

【ウインドウ　録音台本】

【01 初陣】

01—04 GG　砦周辺（地上）

※このミッションではまだカイムは喋れる。

01—04WM01E
連合兵
（切迫して）
城が攻め込まれおります‼　お急ぎを‼

01—04WM02E
連合兵
帝国軍の強さは異常です！

01—04WM03C
カイム
ひるむな！　突っ込め‼

01—04WM04E
連合兵
城には妹君……いえ、女神フリアエ様がおられます。

01—04WM05E
連合兵
女神はイウヴァルト様が警護されているはずです！

01—04WM06C
カイム
（つぶやき）
フリアエ、無事でいろよ……。

01—04WM07C
カイム
（狂気）
帝国のダニめっ、死ぬがいい！

01—04WM08C

カイム
(叫び)
おらおらおらおらおら―――っっ

01―06　GG
砦内部(地上)

※このミッションではまだカイムは喋れる。

01―06WM01C
カイム
(必死に)
かかってこい！　皆殺しにしてやる!!

01―06WM02D
ドラゴン
(バカにして)
所詮、人間の力などそんなものだ……。

01―06WM03D
ドラゴン

（驚き）　生き残れたのか……。悪運の強いヤツだ。おぬしなら……

01―06WM04C
カイム
大事な話し合いの最中だ。ザコは引っ込んでろ‼

01―06WM05C
カイム
（痛恨）　この俺が……父と母の仇と契約するとはな……それでもっ！

01―06WM06D
ドラゴン
（軽蔑）　人の命を奪うことが〝生きる意味〟とは……愚かな人間だ。

01―06WM07C
カイム
（強い決意）　俺は……生き残る‼

01—06WM08C

カイム

（叫ぶ）

ドラゴン！　見てるか⁉　これが生きる戦いだ‼

【02　分かち合う魂】

02—01　GA　砦上部～城壁周辺（地上）

※これ以降カイムは喋れない。

02—01WM01D
ドラゴン
しっかり我が背につかまれ！　人間ごとき……蹴散らしてやるわ！

02—01WM02D
ドラゴン
人間共の羽が我が深紅の翼にかなうわけがなかろう。おろかな。

02—01WM03D
ドラゴン
（用心して）
この臭い……。まだ敵は残っているようだな。

02―01WM04D
ドラゴン
どうだ、空を飛ぶ気分は？

02―01WM05D
ドラゴン
（静かに）
おぬしが死ねば我も死ぬ。そのまた逆もしかり。

02―01WM06D
ドラゴン
（からかい含む）〝帝国〟なる輩に随分圧倒されているようだが……勝ち目はあるのか？

02―01WM07D
ドラゴン
（バカにして）
人間共の作る城など……砂上のものに過ぎぬ。

02－01WM08D
ドラゴン
（重々しく）

賢者は戦いよりも死を選ぶ。さらなる賢者は生まれぬことを選ぶと言う。

02－01　GA

砦上部～城壁周辺（上空）　※アップデートターゲット

02－01WM09D
ドラゴン

地上の敵を倒さねば降りられそうにもないな。

02－01WM10D
ドラゴン

敵は我らを狙っておるぞ！　うまくよけながら攻撃せよ。

02－01WM11D
ドラゴン

よし……これで下に降りられそうだ。いくぞ！

02-01WM12E
連合兵
（悲鳴じみて）
カイム様、帝国軍の増援部隊が来てます。我が軍の方はまだですかっ？

02-01WM13D
ドラゴン
（やりきれず）
そこまで殺さずとも良いものを……

02-01WM14D
ドラゴン
（痛恨）
人間とはなんと愚かな生き物か。

02-01WM15D
ドラゴン
血の足跡をつけずに人類の歩むことは不可能なのか……？

02-01WM16E

連合兵
（苦しげに）

フリアエ様はもっと奥に……

【03 女神救出】

03－01 GA
砦・内部（上空）

03－01WM01D
ドラゴン
まだ敵は残っているのか。やれやれ、うるさい子蝿め。

03－01WM02D
ドラゴン
（注意を促す）
敵の攻撃に気を取られてばかりいると、振り落とされるぞ！

03－01WM03D
ドラゴン
城の周辺を一掃せねばなるまい……。行くぞ！

03－01WM04T

帝国兵
（感情ナシ）
死ネシネ死ネシネしね

03—01WM05E
連合兵
（驚きと恐怖）
帝国軍の奴らは何なんだ？　尋常な力じゃない！

03—01WM06T
帝国兵
（感情ナシ）
女神……殺ス……封印……

03—01WM07T
帝国兵
（感情ナシ）
許ス……許さナイ……許されナイ……ナイ

03—01WM08E
連合兵

（怯えて）　こいつらの眼を見ていると……何だか……うわっ！

03―02　GG　城壁周辺（地上）

03―02WM01D
ドラゴン
（いらいらと）　こやつら……一体どこからやってくるのだ？
まったくきりがない。一気灰にしてくれるわ！

03―02WM02E
連合兵
（切迫して）　カイム様！
すでに城は帝国軍に囲まれてしまっております。お急ぎを！

03―02WM03E
連合兵　カイム様！　城に帝国軍が進入しました！　お急ぎを！

０３－０２ＷＭ０４Ｅ
連合兵
（混乱して）
カイム様！　カイム様!?　お返事を!!

０３－０２ＷＭ０５Ｄ
ドラゴン
（冷静に）
もうここは落城するな……。

０３－０２ＷＭ０６Ｅ
連合兵
（絶望的に）
おぉ……城には女神がまだ……

０３－０２ＷＭ０７Ｅ
連合兵
くそ！　帝国軍のあの団結力はどこから来るんだ？　病的だぜ！

０３－０２ＷＭ０８Ｅ

連合兵
（混乱して）

奴らのねらいは何なんだ？　女神か？

０３−０４　ＧＧ　城内部（地上）

０３−０４ＷＭ０１Ｄ
ドラゴン

今は戻っている時ではなかろう。女神の元へ急がなくてよいのか？

０３−０４ＷＭ０２Ｄ
ドラゴン
（励まして）

こんなところで死ぬでない！
おぬしは我と契約したのだ。生きる義務がある。

０３−０４ＷＭ０３Ｄ
ドラゴン

あやつを倒さぬ限り、先には進めぬようだな。

03―04WM04D
ドラゴン
離れていても、契約者と我々は〝声〟を通わすことが出来る。

03―04WM05D
帝国兵
（アクセント変）上ダッ、上ダッ、上三封印！　封印の女神……ガ居ルゾッ！

03―04WM06D
ドラゴン
（急かす）
急げ！　女神は既に最上階に追い詰められている。

03―04WM07D
帝国兵
（感情ナシ）
我ラの誓い……世界の誓イ……一緒！

03—04WM08D
ドラゴン

〝声〟とは……そうさな……思念による通信と考えたらよかろう。

【０４　交錯する想い】

０４－０２　ＧＡ　エルフの里への途中の道(上空)

０４－０２ＷＭ０１Ｉ
イウヴァルト
(嫌な予感)
このあたりがエルフの集落のはずなのに……。まさか！　まさか！

０４－０２ＷＭ０２Ｄ
ドラゴン
とにかく、このうるさい子蠅ども一掃するぞ！

０４－０２ＷＭ０３Ｄ
ドラゴン
よし！　このまま集落まで下降するぞ！　捕まれ！

０４－０２ＷＭ０４Ｉ

イウヴァルト
（遠慮がちに）

カイム、帝国への憎悪だけでは前に進めないだろう？

04－02WM05D
ドラゴン
（用心して）

ここに帝国軍がいるということは……覚悟しておけ。

04－02WM06I
イウヴァルト
（憐れんで）

フリアエ……女神である君がいなくなれば、
世界は滅ぶと言われているらしいな。

04－02WM07I
イウヴァルト
（愚痴っぽく）

フリアエが女神として幽閉されている現在、
俺はすでに世界の終わりって気分だ。

０４―０２ＷＭ０８Ｉ
イウヴァルト
（驚嘆）
ドラゴンが人間との契約に応じるとはな……神話のような奇跡だ。

０４―０３　ＧＧ
山脈地帯（地上）

０４―０３ＷＭ０１Ｉ
イウヴァルト
（鼓舞して）
この先の橋を渡った森にエルフの集落があるはずだ……。
きっとあるさ！

０４―０３ＷＭ０２Ｉ
イウヴァルト
（不安）
こんなところにも帝国軍がいるなんて……。集落はどうなってるんだ？

０４―０３ＷＭ０３Ｄ
ドラゴン

我が翼ではこの森に入れぬようだ。おぬし自身の足で進むがよい。

04-03WM04I
イウヴァルト
まさかこんな奥地まで侵攻してきているはずない……
(救い求め)
そうだろう、カイム？

04-03WM05I
イウヴァルト
(ヒステリック)
エルフの里をこの目で見るまでは信じないぞ！　俺は信じない！

04-03WM06F
フリアエ
(あきらめて)
兄さん、イウヴァルト、私の為にムリをしないでください……。

04-03WM07I
イウヴァルト

（信じられず）

永世中立の里を破壊するなんて行動が許されたら……
世界の秩序はなくなるぞ。

04−03WM08F
フリアエ
（諦観）

私はどちらでもかまいません。進むも退くも……御心のままに。

【05　偽りの国】

05－02　GA	山岳地帯（上空）
05－02WM01D ドラゴン	どうやらこの塔が結界を張っているようだな。 すべて破壊せぬと中には入れぬか。
05－02WM02D ドラゴン	結界が緩んできたようだぞ！　このまま破壊しろ!!
05－02WM03D ドラゴン	よし、宮殿までの道は開かれた！　行くぞ！

０５−０２ＷＭ０４Ｄ
ドラゴン
（鼻で笑う）

宮殿だと？　帝国軍も所詮は偶像を崇める愚かな人間か。

０５−０２ＷＭ０５Ｄ
ドラゴン

こんな山奥に帝国軍の拠点が作られているとはな……。
（注意うながす）　虚勢と気合いだけでは崩せぬ。

０５−０２ＷＭ０６Ｄ
ドラゴン
（諫める）

もうやめておけ！　奴らも生き物だ。死して横たわる権利はあろう。

０５−０２ＷＭ０７Ｄ
ドラゴン
（重々しく）

憎しみで血潮を作れど、涙には勝てぬ……。

05－02WM08D
ドラゴン
（嫌な予感）
エルフ達は封印を司る神殿の番人。彼らが無事なら良いのだが……。

05－03　GG　山岳地帯（地上）

05－03WM01D
ドラゴン
（息をひそめて）
この付近に宮殿があるはずだ。気をつけろ！
人間外の気配を感じる……。

05－03WM02D
ドラゴン
やはり、悪霊がおったか！
まずは奴らを操っているものから倒さねば……。

05－03WM03D

ドラゴン
（油断なく）

もう敵はいないようだな。囚われたエルフの姿も見えぬが……？

05—03WM04D
ドラゴン

宮殿はこっちではないようだ。戻れ。

05—03WM05D
ドラゴン
（不安げに）

この廃墟が〝宮殿〟とすれば、
奴らは何を持ってして〝帝国〟と呼ぶつもりだ？

05—03WM06D
ドラゴン
（いらいらと）

倒しても倒してもやってくる……。奴らに怖れは無いのか？

05—03WM07T

帝国兵
(狂ったように) コノ場所ニ入ルモノは全テ死ネ! 死ぬがヨイ!!

05−03WM08D

ドラゴン
(バカにして)
これが〝宮殿〟なら、あばら屋を〝城〟と呼べるな。

05−03WM09T

帝国兵
(感情ナシ)
感情ナラヌ全てのモノが我らの血!

【06　孤独な戦い】

06-01　GA
渓谷(上空)

06-01WM01D
ドラゴン
こやつら、妖精の谷に向かっておったようだな。

06-01WM02D
ドラゴン
血の臭いがするぞ……。すでにどこかを襲撃してきたか？

06-01WM03D
ドラゴン
（痛恨）
煙と血……いったい何度めだ？　愚かな人間の歴史は飽くことを知らぬ。

06-01WM04D

ドラゴン
（忌々しげに）

フェアリー……あの性悪どもの巣か……。

06—01WM05D
ドラゴン
（念を押す）

女神が傷つけば、世界から血が流れると思え。
おぬしの妹は文字通り〝最終封印〟だ。

06—01WM06D
ドラゴン

森のどこかにフェアリーの住む谷がある。
そこも無事ではあるまいが……。

06—01WM07D
ドラゴン

我はフェアリーを好かぬ。人間はもっと好かぬがな……。

06-01WM08D
ドラゴン
どうやらおぬしは戦いから逃れる術を知らぬようだ。

06-03 GG　妖精の谷・中腹(地上)

06-03WM01D
ドラゴン
醜く下等な生き物め。我が炎でその臭いを断ち切ってやるわ！

06-03WM02D
ドラゴン
(嘲笑)
一匹残らず蹴散らすつもりか？　相変わらずだな‼

06-03WM03L
レオナール
(必死で止める)　待て！　話し合え！　その者たちにもう戦う意志はない！

06―03WM04D
ドラゴン
（軽蔑）
何もかもが寓話のようだな。馬鹿馬鹿しい……。

06―03WM05D
レオナール
（驚いて）
あなた達！　私の〝声〟が聞こえているのか？

06―03WM06D
ドラゴン
（驚いて）
〝声〟が聞こえた。契約者か？

06―03WM07L
レオナール
（嘆く）
おぉ……地獄の炎が……。

06―03WM08D

ドラゴン
（思わせぶり）

荒波に浮かぶ者が救いを求めているとは限らぬ。

【０７　封印されし神殿】

０７－０２　ＧＡ	捕虜収容所（上空）
０７－０２ＷＭ０１Ｄ ドラゴン	おぬしの味方が逃げておるようだな。帝国軍を一掃するぞ。
０７－０２ＷＭ０２Ｄ ドラゴン	どうやらヴェルドレは間違いなくここにいるようだな。
０７－０２ＷＭ０３Ｄ ドラゴン	収容所に降り、ヴェルドレを救出せよ！
０７－０２ＷＭ０４Ｄ	

ドラゴン
（侮蔑）

こうも暗いと敵味方の区別がつかんな。
もっともおぬしは区別の必要もないか……？

07－02WM05D
ドラゴン
（意味深）

おぬし、妹の気持ちに気づいておろう？　女神の血の通った想いを……。

07－02WM06D
ドラゴン
（少し憐れみ）

イウヴァルトは報われぬ努力をしておるな……。
愛など愚かな一人遊びにすぎぬ。

07－02WM07D
ドラゴン
（グサリと）

おぬしら3人……真実にそむくことに慣れすぎたか？

07—02WM08D
ドラゴン
（意味深）

妹の純潔をおぬしはどう考えておる？　女神とて女だぞ？

07—03　GG

捕虜収容所（地上）

07—03WM01D
ドラゴン
（耳をすます）

この地のどこからかヴェルドレの気配がする。探すのだ！

07—03WM02D
ドラゴン
（耳をすます）

イウヴァルトの気配は全く感じられぬ。
どこか別の場所に連れ去られたか……？

07—03WM03D
ドラゴン

（確認）　この〝声〟……。おぬしがヴェルドレか？

０７－０３ＷＭ０４Ｄ
ドラゴン
ここが帝国軍の捕虜収容所だ。速やかに行動せよ！

０７－０３ＷＭ０５Ｄ
ドラゴン
（いぶかしげ）　ふたりは別々の場所におるのか？

０７－０３ＷＭ０６Ｄ
ドラゴン
やはり……イウヴァルトは見当たらぬ。

０７－０３ＷＭ０７Ｖ
ヴェルドレ
（必死に）　ここです！　助けてください!!

07—03WM08V

ヴェルドレ

(呪文早口め)

ク・アボーイル・レヴェ・ヴォーレー・セレ・ヴェーイーレー

【08　砂漠の神殿】

08－01　GA	砂漠の神殿（上空）
08－01WM01D ドラゴン	こいつらを早く仕留めねば神殿が占拠されてしまう。いくぞ!!
08－01WM02D ドラゴン （いらいらと）	うるさい鳥どもめ。おぬしらの羽で我を落とせる訳がなかろうに！
08－01WM03V ヴェルドレ （おろおろと）	早く！　一刻も早く奴らの聖地破壊を防がねば！ 急いでくれ、カイム！

08—01WM04V
ヴェルドレ
（絶望）
砂漠、海、森……均衡を保った封印のひとつが今、
壊されようとしている！

08—01WM05D
ドラゴン
（冷静に）
砂漠の神殿は既に帝国軍に包囲されているようだ。

08—01WM06D
ドラゴン
（やれやれ）
自ら神殿と名づけた場所を奪い合い、汚し、破壊する。
人間とは本当に度し難いものよ。

08—01WM07V
ヴェルドレ
ここから一番近い封印の在処は……砂漠の神殿だ。

急いで向かってくれ！

08－01WM08V
ヴェルドレ
（叫び）
女神に負荷が及んでいる！　危険だ！　神殿の封印を何としてでも……

08－02　GG　砂漠の神殿（地上）

08－02WM01D
ドラゴン
（冷静な予測）
こんなところにまで帝国軍が……。
このままでは神殿が落ちるのも時間の問題だな。

08－02WM02V
ヴェルドレ
（取り乱す）
急がれよ、カイム！　神殿が敵の手によって破壊されてしまう！

08－02WM03V
ヴェルドレ

よし。早く封印の場所へ向かわれよ。

08－02WM04D
ドラゴン

イウヴァルトのハープが落ちていたな……。奴は今どこに？

08－02WM05V
ヴェルドレ
（祈り）

あの封印が破られるようなことがあってはならない！　絶対に……。

08－02WM06D
ドラゴン

うむ。イウヴァルトはここには居らぬようだ。

08－02WM07V

ヴェルドレ
封印の無事は私が確かめよう。

08—02WM08V
ヴェルドレ
（神に）
おぉ、神よ。我らに慈悲を与えたまえ……。

08—04　GG
砂漠の神殿・内（地上）　雷光と雨の夜空

08—04WM01D
ドラゴン
（一喝）
こざかしい生き物め！　我が炎で塵となれ‼

08—04WM02D
ドラゴン
おぬしの力だけではこやつは倒せぬ！　我が背に乗れ‼

08－04WM03D
ドラゴン
すでにここは堕ちた。一旦女神の元へ戻るがよい。

08－04WM04D
ドラゴン
闇に属するが故に愚かなのか？
愚かゆえに闇に飲み込まれるのか？　いずれにせよ、死ぬがいい。

08－04WM05D
ドラゴン
ほぅ？　おもしろい。契約者となりし我々に歯向かうとは。
（一喝）
愚鈍にもほどがあるわっ！

08－04WM06V
ヴェルドレ
（悲鳴じみて）
あぁっ！　封印が……封印が破られてしまった！

08—04WM07V
ヴェルドレ
（ぶつぶつ）

神よ、これもあなた様の意志なのでしょうか？
我々に試練を与えるのが……あなたの？

08—04WM08V
ヴェルドレ
（パニック）

恐ろしい！　恐ろしい！　私はこのような汚れは見たことがない‼

【09　叫び】

09—01　GA
砂漠（上空）　夜

09—01WM01D
ドラゴン
さっさと一掃して〝声〟の元へ急ぐぞ！

09—01WM02D
ドラゴン
雑魚を倒していても埒があかぬぞ。いい加減にしろ!!

09—01WM03V
ヴェルドレ
（おろおろ）
カイム……そなたは帝国軍を皆殺しにするおつもりか？
そんな恐ろしいことを……

09－01WM04D
ドラゴン

09－01WM05V
ヴェルドレ

09－01WM06D
ドラゴン

09－01WM07D
ドラゴン
（軽蔑）

（確かめながら）この〝声〟の細さ、振り幅……正常な者ではあるまい。

この先に帝国軍の捕虜収容所がある。
〝声〟はそこから聞こえてくるようだ。

同情による救助か？
それとも尋常ならざる者の手すら必要としているのか？

おぬしは殺戮によってのみ癒されるらしいな……。

09−01WM08V
ヴェルドレ
（おずおずと）
仮にも女神の兄ならば、もう少し行動に気をつけるべきかと……。

09−04 GA　砂漠の牢獄（上空）

09−04WM01V
ヴェルドレ
牢獄には囚われた味方もおるはずだ。助けてやってくれ、カイム。

09−04WM02D
ドラゴン
また鳥どもの登場か。いくらやってきてもこの真紅の翼は落とせぬぞ。

09−04WM03D
ドラゴン
このあたりの地上から〝声〟がきこえるな……。

そろそろ向かうとするか。

09－04WM04V
ヴェルドレ

〝声〟の持ち主は、地盤は不安定ながらかなり強い力を
持っているようだな。

09－04WM05D
ドラゴン
（重々しく）

牢獄……。人間同士、何を捕らえ合うというのか？　無為なことよ。

09－04WM06A
アリオーシュ
（感情ナシ）

死んだ……死んだ……皆死んだ……

09－04WM07V
ヴェルドレ

（同情）
ひどい有様だ……。このままでは生存者とて先がない。
早く助けてやろう。

09—04WM08A
アリオーシュ
（つぶやく）
……光？　……見えた。

09—04　GA　砂漠の牢獄（上空）※アップデートターゲット

09—04WM09D
ドラゴン
〝声〟はこのあたりからするのだが……これでは敵が多くて探せぬな。

09—04WM10A
アリオーシュ
（苦しげに）
う……ううう……。

09－04WM11D
ドラゴン
〝声〟のする方へ降りるぞ。用心しろ！

09－04WM12V
ヴェルドレ
（弱々しく）
人は皆、神の子！　争いなど……。

09－04WM13V
ヴェルドレ
（恨みがましく）
なぜ争いはなくならないのだ。なぜ？　なぜ？

09－04WM14D
ドラゴン
（叱る）
思索する前に走れ！　生き残りたいのだろう？

09－04WM15A

アリオーシュ
(さらに苦しげ)　く……く……くく……。

09―04WM16V
ヴェルドレ
(不安げ)　〝声〟がますます不安定になってる！　急がねば……。

09―05　GG　砂漠の牢獄（地上）夜

09―05WM01V
ヴェルドレ　間違いなく、ここの牢獄にこの弱い〝声〟を発信してる者がいる。
気をつけて進むのだ。

09―05WM02A
アリオーシ
(唸るように)　う……う……。

09－05WM03D
ドラゴン
（励ます）
いいぞ。〝声〟が近くなってきた！　もうじきだ。

09－05WM04D
ドラゴン
（ためらって）
うむ。こやつらは帝国軍の生贄となるのであろう。
……おぬしの父母と同じだ。

09－05WM05V
ヴェルドレ
急ぐのだ！　〝声〟が変調をきたし、つかみにくくなっておる。

09－05WM06D
ドラゴン
（つぶやく）
血と祈りは表裏一体であることに、なぜ人間は気付かぬのだ？

09－05WM07V
ヴェルドレ
（穏やかに）

カイム、心が暴れたら神を持ちなさい。
こんな時代だからこそ、信仰は尊いのだ。

09－05WM08V
ヴェルドレ
（いぶかしげ）

……『光』？　……何を言おうとしているのだ？　この〝声〟は。

【10　残存の勢力】

10—04　GA　荒野の街道(上空)

10—04WM01D
ドラゴン
とにかく、今は帝国領土に向かうことが先決のようだ。
いくぞ！　目の前の敵を蹴散らせ！

10—04WM02D
ドラゴン
この数……どうやら帝国軍との決戦の日は近づいているようだな。

10—04WM03V
ヴェルドレ
地上を進軍中のヤツらを止めてくれ。
向かわせては我が軍が圧倒的に不利なる！

10－04WM04V
ヴェルドレ
（うめく）
憎しみが私の心に黒い雲となって広がってゆく……。

10－04WM05V
ヴェルドレ
（疑問）
女神の最終封印が解かれた後の世界については知らぬ。
あるのは〝終わり〟ではないのか？

10－04WM06D
ドラゴン
（忌々しげ）
〝再生の卵〟〝女神〟〝天使の教会〟
……空洞の欠片ばかり集まりおって！

10－04WM07V
ヴェルドレ
〝再生の卵〟は世界が終わる時に現れるという奇跡の呼び名だ。

神話の中ではな……。

10－04WM08V
ヴェルドレ

エルフの里を襲ったのは、
あの種族のみが持つ封印番の力を欲したせいでありましょう。

10－04　GG
荒野の街道(地上)

10－04WM09D
ドラゴン

この数の雑魚どもを一掃するのか。これは骨が折れそうだな。
大将を先に倒してゆこう。

10－04WM10V
ヴェルドレ
(ショック)

そなた、笑っておるな?

10-04WM11D
ドラゴン
（非難）
この者達を刃で切り刻むことがそんなに楽しいか？

10-04WM12V
ヴェルドレ
これだけの死骸……手向ける花も枯れてしまうな……。

10-04WM13D
ドラゴン
（思わせぶり）
女神の安否が気にかかって仕方ないのだ……。
カイム、そなたもであろう？

10-04WM14D
己の水瓶を覗くことにかかりきりになってる者が、
未知の敵に気付けると思うか？

ドラゴン
（諭す）
気が急くのはわかるが、やみくもに殺せばいいものでもなかろう。

10―04WM15V
ヴェルドレ
（悲鳴）
カイム！　これ以上無為な殺生はやめるのだ！
そなたは来世を信じぬのか？

10―04WM16V
ヴェルドレ
（悲痛）
エルフ達が死に絶えれば、封印を司る神殿の番人が
いなくなる……。

【11　禁断の地】

11－01　GG	荒野の集落(地上)
11－01WM01D ドラゴン （勢いよく）	所詮、雑魚の集まり。部隊を操るものを倒せば数など恐るに足らぬ。
11－01WM02D ドラゴン	こざかしい虫けらどもめ。我が紅蓮の炎で一掃してくれようぞ！
11－01WM03D ドラゴン （はかって）	大将は……まだ息があるようだな。
11－01WM04D	

ドラゴン
（非難）

まったく！　この程度の下級兵など無視してしまえばいいものを……。

11―01WM05D

ドラゴン

帝国軍が皆赤い眼なのはなぜだ？　〝天使の教会〟は奴らに何をした？

11―01WM06D

ドラゴン
（静かな怒り）

ブラックドラゴン……奴らは我らがドラゴン属の誇りを捨てし劣等の分際。

11―01WM07V

ヴェルドレ
（絶望）

戦いとは……これほどまでに道のない生き方なのか！

11―01WM08V

ヴェルドレ

私には理解できぬ。カイム！　そなた、自分がつらくないのか？

【12　石の声】

12-01　GG　浸食地形（地上）

12-01WM01D
ドラゴン
なんて濃い霧だ。まったく先が見えぬ。
気をつけて進まぬと敵の格好の的となるぞ。

12-01WM02D
ドラゴン
（疑わしく）
本当にこの道であっているのか？
なんども通っているような気がするぞ。

12-01WM03D
ドラゴン
どこかで人の気配がするな……。

こんな辺境の地に人間が住めるとは思えぬが？

12−01WM04D
ドラゴン
（非難）

おぬし、殺すため以外に人間を見つめたことがあるか？

12−01WM05D
ドラゴン
（妹の愛を指示）

兄妹だから？　そんなものが何の言い訳になろう！

12−01WM06D
ドラゴン
（侮蔑）

殺す事と愛する事が同義になるとは……
人間はなんと都合のいい生き物か！

12−01WM07D
ドラゴン

（非難）

イウヴァルトの気持ちはわかるまい。
おぬしは〝愛〟すら知らぬ男。まして〝嫉妬〟など！

12－01WM08V
ヴェルドレ
（言いづらい）
（取りなす）

女神の……あなたへの想いは特別であった。
しかしそれを知って何になろう？

12－01　GG　隠れ里・入り口（地上）※侵食地形付近

12－01WM09D
ドラゴン
（耳すまして）

ここにはブラックドラゴンの気配が無い……しかし、また別の……

12－01WM10D
ドラゴン

巧妙に隠れておるが、ここは岩を操りし種族の住む谷のようだ。

12−01WM11D
ドラゴン
（答えて）

うむ……しかし、ここも帝国軍に踏みにじられた後か！

【13　偽りの平和】

13—03　GA	帝国領土（上空）
13—03WM01D ドラゴン （憎々しく）	一つ目のウスノロめ。我が炎できさまの目玉を焼き焦がしてやろうぞ！
13—03WM02D ドラゴン	どうやらおぬし達の軍は劣勢のようだな。
13—03WM03D ドラゴン （バカにして）	これで一つ目は全て倒したようだ。 あとは帝国の残党狩り……おぬしの好きな時間だぞ。

13－03WM04V
ヴェルドレ
（恐慌）
女神……女神は無事か？　女神フリアエを探してくれ！　誰か‼

13－03WM05D
ドラゴン
サイクロプスを人工的に繁殖させるなど……正気の沙汰とは思えぬな。

13－03WM06D
ドラゴン
（憐憫）
これほどの血を流してまだ答えが出ぬとはな……不幸な生き物だよ。

13－03WM07V
ヴェルドレ
（叫んで）
私は女神のお世話係、神官長のヴェルドレだ！
誰か女神を見た者はいないか⁉

１３—０３ＷＭ０８Ｖ
ヴェルドレ
（祈る）
神よ、お導きください。哀れなる迷い子達に慈悲を……。

１３—０３　ＧＧ　帝国領土（地上）

１３—０３ＷＭ０９Ｄ
ドラゴン
帝国の狂信者ども。ウジ虫のようにわきおって！

１３—０３ＷＭ１０Ｄ
ドラゴン
（嘲笑う）
無駄ぞ‼　所詮人間どもが我に敵うわけなかろう。

１３—０３ＷＭ１１Ｄ
ドラゴン
これで帝国軍も退くしかなかろう。おぬしたちの勝利も目前か……？

13－03WM12D
ドラゴン

最後の決着をつけるべく、連合、帝国共に総力を結集したようだな。

13－03WM13V
ヴェルドレ
（力無く）

これを、人類が行う最後の戦いに……いつもそう願っておるよ。

13－03WM14D
ドラゴン
（いぶかしげ）

連合軍が優勢になったようだな。しかし……たやすすぎないか？

13－03WM15D
ドラゴン
（激を飛ばす）

気を抜くな！　何か向こうが変だぞ。……余裕すぎる。

13－03WM16V

ヴェルドレ
（頼みの綱）

カイム！　女神からの〝声〟は受け取っていないか？
そなたならきっと……

【14　帝国の脅威】

14−01　GG
破壊された丘陵(地上)

14−01WM01D
ドラゴン
この怪物どもはどこから現れたのだ？　骨が折れるわ……

14−01WM02D
ドラゴン
恐ろしい光景だ……何がしたいのだ、奴らは……？

14−01WM03D
ドラゴン
空……あれは一体!?

14−01WM04D

ドラゴン
こやつら……人間に造りだされたものか……？

14-01WM05D
ドラゴン
人間共が神を怖れたなど……遙か昔のお伽噺よ。

14-01WM06V
ヴェルドレ
恐ろしい…未来が…見えぬ……

14-01WM07V
ヴェルドレ
世界の終わりとは……こんな光景なのかもしれぬな。

14-01WM08D
ドラゴン

何だ、この威圧感は……悪い予感がするぞ。

14－01　GA　空中要塞・下（上空）

14－01WM09D
ドラゴン
（驚く）
なんだ、あの巨大な貝殻は！　人間の力では到底作れぬ代物だぞ。

14－01WM10D
ドラゴン
（注意を促す）
カイム！　気をつけろ！　こやつら手強いぞ!!

14－01WM11D
ドラゴン
あの貝殻……。一体どのくらい上を飛んでいるのだ？

14－01WM12D

ドラゴン
（ハッパかけ）

先ほどの力がまた発現したぞ。封印の儀式が始まったらしい。急げ！

14—01WM13D

ヴェルドレ
（脅威）

人間の力だけで空中要塞など作れるものか！
〝天使の教会〟とはいったい何なのだ？

14—01WM14V

ヴェルドレ
（おろおろ）

ああ……封印が解除されてしまう。私はどうしたら……神よ！

14—01WM15V

ヴェルドレ
（自暴自棄）

もはや祈るしかない。皆、頭を垂れて、ただ祈るがよい。

14—01WM16D

ドラゴン
（一喝）

真相が知りたくば、祈っておるヒマなどないぞ！

【15　黒きドラゴン】

15―02　GA
空中要塞・下（上空）

15―02WM01―
イウヴァルト
（余裕たっぷり）
カイムよ。おまえに今の俺を倒すことができるかな？

15―02WM02―
イウヴァルト
（笑いながら）
フリアエよ、見ているか!?　おまえの兄はここに眠るぞ!!

15―02WM03D
ドラゴン
おぬし、ドラゴンのくせに赤い眼に甘んじたのか？　恥を知れ！

15―02WM04―

イウヴァルト
（高らかに）

俺は力を手に入れた！　だからフリアエも手に入れる！　フリアエ！

15－02WM05D
ドラゴン
（うなる）

黒き竜を駆りしイウヴァルト、侮れぬぞ！

15－02WM06－
イウヴァルト
（高ぶりすぎ）

フリアエッフリアエッフリアエッフリアエッフリフリブリブリブリ

15－02WM07－
イウヴァルト
（錯乱）

俺は……誰だ？　うっ……頭が……フリアエ！　フリ……アエ？

15－02WM08－
イウヴァルト

（狂った）

うわははははは！　死ね死ね死ねーい！

【１６　定め】

１６－０１　ＧＡ　空中要塞手前（上空）

１６－０１ＷＭ０１Ｄ
ドラゴン
まずは砲台を倒して近づくしかなさそうだな。

１６－０１ＷＭ０２Ｄ
ドラゴン
やみくもに倒しても埒があかぬ。狙いを定めて攻撃するのだ。

１６－０１ＷＭ０３Ｄ
ドラゴン
扉が開いたようだが……まだ中には入れさせてくれぬか？

１６－０１ＷＭ０４Ｆ

フリアエ
（弱々しく）
や……めて……

16－01WM05V
ヴェルドレ
その要塞の中に女神が囚われておる。最後の封印だ！
守りぬいてくれ!!

16－01WM06D
ドラゴン
（嘲笑）
この程度の砲撃で我が堕ちるとでも？　笑止！

16－01WM07V
ヴェルドレ
（うめく）
なんと大きな建物か……どうやって浮いているのだ？

16－01WM08D

ドラゴン
（危険察知）　女神の匂いが薄まっておる。急げ！

16—01　GA　空中要塞手前（上空）※アップデートターゲット

16—01WM09D
ドラゴン　この貝殻にはどれだけの敵がおるのだ。きりがない！

16—01WM10D
ドラゴン　さすがのおまえも、これだけの命を奪うのは心苦しいか？
（からかう）　そうでもない……か。

16—01WM11D
ドラゴン
（励ます）　いくぞ、敵の心臓に‼　もう後戻りはできぬ‼

16-01WM12T
帝国兵
（感情ナシ）
天使、女神、天使、メガミ、テンシ、メガミテンシメガミ……メ

16-01WM13D
ドラゴン
奴らはもう人間ではない。狂った機械だ。倒すのも虚しかろう。

16-01WM14V
ヴェルドレ
（様子を知らず）
カイム、どうした⁉　女神は無事か？　早く……

16-01WM15F
フリアエ
（弱々しく）
兄さ……ん

16-01WM16D

ドラゴン
フリアエの〝声〟が聞こえたか？　走れ！

16—03　GG　空中要塞・内部(地上)

16—03WM01D
ドラゴン
(鼓舞)
まよわず突き進め！　その手でおのれの妹を連れ帰れ！

16—03WM02D
ドラゴン
(静かに力強く)
ここからでは何の手助けもしてやれん。おぬしが、やるのだ。

16—03WM03D
ドラゴン
(察知して)
女神を……感じるぞ。この要塞のどこかに必ずおる。

16-03WM04V
ヴェルドレ
（やみくもに）

女神をっ！　女神はどこだっっっ⁉

16-03WM05D
ドラゴン

女神の〝声〟が……弱い。弱いぞ。急げ！

16-03WM06F
フリアエ
（断末魔）

兄さん……兄さん……いやぁぁあああああ！

16-03WM07V
ヴェルドレ
（おろおろ）

私は神に祈ることしか出来ない。私は無力だ。
女神よ、無事でいてくれ……。

16—03WM08F
フリアエ
（臨終）

……き……。

※「兄さんが好き」の「き」です。

【17 決意】

17-03 GA	空中要塞・下(上空)
17-03WM01D ドラゴン (奮い立たせる)	今は己の哀しみに浸っている時ではない。 あやつを……すべての元凶を捕らえるのだ!
17-03WM02D ドラゴン	ゴーストがこんなところにまで……。 すでに終焉の時が近付いているというのか。
17-03WM03D ドラゴン	あやつの飛び去った方向は……帝都本拠地だな。

このまますんなり追えるか？

17−03WM04V
ヴェルドレ
（自暴自棄）

女神が死んだ……封印が解かれた……終わりだ。
何もかも終わりだ。すべて無だ。

17−03WM05D
ドラゴン
（噛みしめる）

おぬしの本当の復讐は、これから始まるのだな……。

17−03WM06D
ドラゴン
（信じられず）

あの小娘は〝再生の卵〟に向かって移動中だ。
……奴が〝天使の教会〟の司教だと？

17−03WM07S

セエレ
（気まずく）　あれは……マナ。……僕の妹だよ。……ごめんなさい。

17—03WM08S

セエレ
（必死でかばう）　マナは可哀相な子なんだ。
僕が悪いの。だからカイム、お願い。マナを怒らないで！

17—03WM09D

ドラゴン　あの小娘を追うぞ!!

17—03WM10I

イウヴァルト　女神の復活を!!　いざ再生の卵へ!!

17—03　GA	空中要塞（地上）※アップデートターゲット

17－03WM11D
ドラゴン

ここはもう人間どもの住める場所ではなかろう。
下等なヤツらにのっとられたわ。

17－03WM12D
ドラゴン
（絶望）

この数は異常だ。もう……この世に安住の地などないのだろう。

17－03WM13D
ドラゴン

急ぐぞ、カイム！　あやつの飛び去った帝都へ!!

17－03WM14V
ヴェルドレ

〝再生の卵〟が本当に現れた！　全種族がそこへ向かっているはずだ！

17－03WM15D
ドラゴン
（憐れみ）

おぬしはこれ以上、何を求めるのだ？
立ち止まる幸福を……知らぬか？

17－03WM16D
ドラゴン
（自嘲）

本当に愚かなのは、この我かもしれぬな……。

17－03WM17M
マナ
（歌うように）

ララララララ、ラララララ、ララ、天使……

17－03WM18V
ヴェルドレ
（不吉な預言）

私達は今、世界のふちにいる。深い……深い底にいるのだ……。

【18　人ならざるもの】

18−01　GA	帝都周辺（上空）
18−01WM01D ドラゴン （やる気満々）	よかろう。貴様の炎と我の炎、どちらが勝っているか教えてやろうぞ！
18−01WM02D ドラゴン （少し苦しげ）	なかなかやるではないか。だが我の足下にもおよばぬぞ。燃え尽きろ!!
18−01WM03D ドラゴン （勝ち誇る）	ふん……所詮、貴様の炎などそんなものだ。身の程を知れ！
18−01WM04V	

ヴェルドレ
（確かめる）
神話によれば、
〝再生の卵〟に入ることで人類には新たな道がひらけると……。

18—01WM05D

ドラゴン
（激を飛ばす）
惑わされるな！　おぬしの敵はあの小娘だ。しっかりしろ！

18—01WM06V

ヴェルドレ
（情けなく）
カイム……。女神亡き後、私はどうしたらよい……？

18—01WM07V

ヴェルドレ
（混乱）
封印解除の後にくるもの……それは世界の終わりであるはず。だが……

18—01WM08D

ドラゴン
生き残りたくば、何にも巻かれるな。己を信じよ。
たとえ、復讐しか信じぬ己でもな……。

18—05　GA　帝都（上空）

18—05WM01D
ドラゴン
（宣言）
偉大なるドラゴンよ。我らのような馬鹿者に出会ったことを
後悔するがいい！

18—05WM02D
ドラゴン
（苦しげ）
くっ……。やはり、我は愚か者であったか……。

18—05WM03D
ドラゴン

（びっくり）　信じられぬ……。我らがあのドラゴンに……勝ったと？

18—05WM04D
ドラゴン
（気迫）　ハッハッハッハァ！　エンシェントドラゴンが何だというのだ！

18—05WM05D
ドラゴン
（自嘲気味に）　我が成長しただと？　黙れ。我はただ……バカ者になっただけだ……。

18—05WM06D
ドラゴン
（静かに）　一度しか言わぬからよく聞け。
……人間を生き延びさせたくば……卵には入れるな。

18—05WM07V
ヴェルドレ

（うめく）

18－05WM08V

ヴェルドレ

ドラゴンがドラゴンに挑む……そんなバカげた戦いがあろうか！

カイム！　そなたとドラゴンの間に何があった？

そなたの何がドラゴンを駆り立てる？

【19　閉じた魂】

19－01　GA　帝都上空(上空)

19－01WM01D　ドラゴン

もはや我らより強い者など居らぬ。命が惜しければ道をあけろ！

19－01WM02D　ドラゴン

愚か者め！　己の無力さを悔いるがよい！

19－01WM03D　ドラゴン

敵の本拠地に乗り込むぞ！　最終決戦だ!!

19－01WM04D

ドラゴン
おそろしい都だ……おぬしら人間はどこへ進もうとしておるのだ……

19−01WM05V
ヴェルドレ
ドラゴンとそなたの絆の強さが羨ましいぞ。
我とドラゴンの間にはなかった……。

19−01WM06D
ドラゴン
ぐっ！　……大丈夫だ、カイム。おぬしこそ無理をするでないぞ。

19−01WM07V
ヴェルドレ
これが帝国の本拠地……こんなところに人が住めるのか？

19−01WM08V

ヴェルドレ
ぐはぁ！　わ、私の力では手に負えぬ！　この場所は恐ろしすぎる！

19－01　GG
帝都・卵有り(地上)

19－01WM09D
ドラゴン
この〝声〟……諸悪の根源はこの先の神殿にいるぞ！

19－01WM10D
ドラゴン
敵の反撃が厳しくなっているな。無事に進めるのか？

19－01WM11D
ドラゴン
いよいよ…最後の時が近づいているようだな……。

19－01WM12D
ドラゴン
すまぬ、カイム。我が翼ではこの先は進めぬようだ。

19－01WM13D
ドラゴン
この淀んだ空気！　……さすがの我も少々震えがくるわ。

19－01WM14D
ドラゴン
この先の神殿だ、カイム！　全てはそこにある！

19－01WM15D
ドラゴン
女神……イナイ…。ダカラ……オワリ……オワル……。

19－01WM16D

ドラゴン　躊躇するな！　もはや我々には進むしか道はないのだぞ‼

19―02　GG　帝都・祭壇内部(地上)

19―02WM01D
ドラゴン
(必死)　あやつを祭壇に向かわせてはならぬ。止めろ！

19―02WM02D
ドラゴン
(心配)　大丈夫か⁉　おのれ……調子にのりおって！

19―02WM03M
マナ
(断末魔)　お母さーーーーん‼

19-02WM04D
ドラゴン
（憤怒）

世界をここまで滅ぼした罪、貴様に償ってもらうぞ！

19-02WM05M
マナ
（大人口調）
（子供口調）

封印の解かれし今、それらすべてが無駄なあがき……

わたしを捕まえられる？

19-02WM06M
マナ
（歌うように）

ラララララ、ララ、天使の行進！　交信！　口唇！　ラララ……

19-02WM07V
ヴェルドレ
（恐れて）

かような幼子のどこに……それほどまでの憎悪が……？

19—02WM08D
ドラゴン
（怒りの狂気）

まだだ！　追いつめろ！　逃がすな！　やれ‼！

19—03　GA

帝都（上空）

19—03WM01D
ドラゴン

弱点だ！　奴がいかなる姿になろうとも、必ず弱点があるはずだ！

19—03WM02D
ドラゴン
（自信満々）

我の翼には、ついてこれまい！

19—03WM03D
ドラゴン
（呆然と）

終わったな……とにかく全てが……過ぎてしまった。

19—03WM04M
マナ
（怪物化）

ググゲゲゲゲ　ゲ　ゲ

19—03WM05D
ドラゴン
（最大の励まし）

カイム！　我との約束を覚えておるか？　……絶対に死ぬな！

19—03WM06M
マナ
（狂っている）

オガーザーン！　オガーザーン！　オガーザーン！　ゴォーッ！

19—03WM07V
ヴェルドレ

幼子の叫びは聖母に向けられているのか……？　おぉ、神よ……。

19—03WM08D

ドラゴン
（言い聞かせ）

こいつは敵だ。そう……ひるむな。敵なのだ……人類の！

【35　神の意志】

35－02　GA
海上（上空）

35－02WM01D
ドラゴン
結界塔を破壊すれば、海上に近づけるぞ

35－02WM02V
ヴェルドレ
海上要塞は下部中央に侵入路がある。
水面近くから下側に回りこむと良いだろう。

35－02WM03V
ヴェルドレ
その内部に女神が捕らえられているはずだ。急いでくれ！

35—02WM04V
ヴェルドレ
（恐れ）

海の上にもこんな巨大な要塞を作るとは。
〝天使の教会〟はどこまでの……

35—02WM05A
アリオーシュ
（狂っている）

あはははっ！　光、光、光‼！

35—02WM06D
ドラゴン

あせるな。水の上では奴らも逃げ場はあるまい。

35—02WM07A
アリオーシュ
（狂っている）

虹色、菫色、群青色、金色……あはははっ

35—02WM08V
ヴェルドレ
（同情）
女神……おかわいそうに……。一体どこまで試練がつきまとうのか！

35—03GG
海上・海上要塞内（地上）

35—03WM01V
ヴェルドレ
早く女神を保護してくれ！　頼んだぞ。

35—03WM02D
ドラゴン
（いぶかしげ）
やけに静かだな。……〝声〟もしない。本当にここに女神が？

35—03WM03L
レオナール
（心配）
女神が……急に〝視〟えなくなりました……。

35―03WM04D
ドラゴン
空中要塞とまったく同じ造りのようだな……。

35―03WM05V
ヴェルドレ
（遠方より指示）
女神はきっと祭壇に祭られているはず。奥を探してくれ。

35―03WM06D
ドラゴン
（いぶかしげ）
妙だな。……人間の気配がない。

35―03WM07L
レオナール
（恐れる）
潮の香りが……なんだか禍々しいです。

35―03WM08A

アリオーシュ
（苛立たしい）

食べられないモノばかり……ちっ！　ちっ！

【36 幻想の方舟】

36-01 GA	海上（上空）
36-01WM01D ドラゴン	周囲の船を沈めてからでないと、攻撃が厳しくて要塞には入れぬ！
36-01WM02V ヴェルドレ	要塞の下部中央の侵入路から、内部に入るのだ！
36-01WM03S セエレ	要塞内部にはまだわるいやつらがいっぱいいるよ。気をつけて！
36-01WM04D	

ドラゴン
（バカにして）
海の上の要塞だと？　方舟にでも乗ったつもりか！

36ー01WM05V

ヴェルドレ
（切迫して）
女神の気配が薄らいでいる。急いでくれ！

36ー01WM06D

ドラゴン
（詰問）
女神の〝声〟は痛みに満ちておるぞ。
感じぬか？　それとも耳を塞いでおるのか？

36ー01WM07S

セエレ
（励ます）
カイム！　がんばろうね!!　きっと女神さまも待ってる!!！

36ー01WM08L

レオナール
（おののいて）
不吉な雲が……〝視〟えます……。

36―02　GG　海上・海上要塞（方舟化）（地上）

36―02WM01V
ヴェルドレ
（我を忘れて）
女神はどこだあっ!!

36―02WM02D
ドラゴン
雑魚にかまうな。一気にいけ！

36―02WM03V
ヴェルドレ
（最悪の予想）
ひょっとしたら女神は……いえ、何でもありません。

36－02WM04D
ドラゴン★
空中要塞とまったく同じ造りのようだな……。

36－02WM05V
ヴェルドレ★
（遠方より指示）
女神はきっと祭壇に祭られているはず。奥を探してくれ。

36－02WM06D
ドラゴン★
（いぶかしげ）
妙だな。……人間の気配がない。

36－02WM07L
レオナール
（悲鳴）
あぁ……そんな……女神!?

36－02WM08D

ドラゴン
（沈痛に）

方舟の行き先を知らぬまま乗り込むとは愚かな……。

★＝35—03と全く同じ台詞

【56 夢の現実】

56—01 GG
空中要塞・内部(地上)

56—01WM01D
ドラゴン
(様子見つつ)
ここは……空中要塞のようだ……。女神の〝声〟を感じるぞ。

56—01WM02L
レオナール
カイム。私は別の場所へ飛ばされたようです。
手分けして女神を探しましょう。

56—01WM03D
ドラゴン
我の〝声〟が聞こえていたら、返事をしろ。無事たどりついたのか?

56—01WM04D
ドラゴン
（返事して）

うむ。女神はまだ辛うじて無事なようだ。だが時間がないぞ。

56—01WM05V
ヴェルドレ
（笑うしかない）

封印が解かれたら……世界は終わりだ……ハハ……ハ

56—01WM06L
レオナール
（透視して）

この邪悪な気配は？　……強大な敵……司教？
女神の近くにいるようです！

56—01WM07S
セエレ
（衝撃）

この〝声〟って……もしかして……そんな⁉

56—01WM08A
アリオーシュ
（狂気）
血の匂いが近いわ。あははははっ！

56—03　GG　空中要塞・内部（地上）

56—03WM01M
マナ
（おしゃま）
見つかっちゃった！　ラララララ……。

56—03WM02D
ドラゴン
（厳しく）
この〝声〟⁉　そいつが元凶だ！　逃がすな！

56—03WM03M
マナ
（歌うように）
天使は笑わない、天使はうつむかない、天使は病まない……ラララ

56—03WM04M
マナ
お母さーん！

56—03WM05M
マナ
（からかって）
鬼さん、こちら！　鬼さん、こちら！

56—03WM06M
マナ
（歌うように）
ラララララ、ラララ、ララ、天使、ラ！

56—03WM07D
ドラゴン
（疑いを抱く）
この〝声〟……。奴は本当に〝ひとり〟か？

56—03WM08V

ヴェルドレ
（判断不能）　あんな幼子が司教とは……。慈悲を……慈愛を……どうか……

56ー03WM09M
マナ
（叫ぶ）　お母さんといっしょ！　おっかあああさっんーーーっ‼

【３８　悪魔の翼】

３８—０１　ＧＡ
帝都周辺（上空）

３８—０１ＷＭ０１Ｄ
ドラゴン
奴は？　イウヴァルトはどこに？

３８—０１ＷＭ０２Ｄ
ドラゴン
待て！　卵の元には行かせぬぞ！

３８—０１ＷＭ０３Ｄ
ドラゴン
しまった！　あやつ、卵に向かっておるぞ！

３８—０１ＷＭ０４Ｄ

ドラゴン

〝再生〟の……卵か……愚かなものよ。

38—01WM05D
イウヴァルト

ええい！　邪魔をするな‼　俺はフリアエを……

38—01WM06D
ドラゴン

身を持って〝卵〟の意味を知るつもりか？

38—01WM07D
ヴェルドレ

〝再生の卵〟があれば女神が……復活する……⁉

38—01WM08D
イウヴァルト

どうして！　どうして分かってくれないの⁉　カイム‼

38—02　GA
帝都周辺（上空）

38—02WM01D
ドラゴン
どこにおるのだ⁉　愚かなブラックドラゴンめ！

38—02WM02D
ドラゴン
カイムよ！　落ち着け！　落ち着いてブラックドラゴンを探すのだ！

38—02WM03I
イウヴァルト
（憎々しげ）
ぐぅ……カイムよ……やはりおまえには勝てぬのか……。

38—02WM04V

ヴェルドレ
（驚嘆）

おおっ！　奇跡だ！　本当に〝再生の卵〟が現れた。
人類に用意された救いの道だ！

38―02WM05D
ドラゴン
（あきらめ）

全種族が狂乱の中にいる。〝卵〟の前ではそうなるのだ。
……本能には逆らえまい。

38―02WM06D
ドラゴン
（意味ありげ）

〝再生の卵〟などと呼ぶのはやめることだな。
……あれは……〝断頭台〟だぞ。

38―02WM07V
ヴェルドレ

モンスター達も卵の中に入ろうと必死だ‼

（悲鳴）

本能の戦いにおいて人間は弱すぎる。

38－02WM08D
ドラゴン

本当の賢者は石を持たず、〝卵〟にも近づかない……。
覚えておけ、カイム。

38－02WM09I
イウヴァルト

カイム！　おまえはいつもそうだ‼
蔑むために俺の邪魔をするんだ！

【39　邂逅】

39—02　GA
帝都周辺（上空）

39—02WM01D
ドラゴン
（うめく）
あれを……女神と呼んでいいのか？　我が炎はヤツに通じるのか？

39—02WM02D
ドラゴン
（開き直る）
気張るな。どうあがいても、しょせん地獄よ。

39—02WM03D
ドラゴン
カイムよ……。こらえよ！

39—02WM04D

ドラゴン
（深い同情）
異形の者となりし妹と戦うか……すべては儚い夢のようだな。
39—02WM05D

ドラゴン
（言い含める）
しかしながら、ヤツは女神ではない。……もう……違うぞ？
39—02WM06D

ドラゴン
（慰める）
あぁ、そうだ。イウヴァルトは最後にいい幸せな夢を見た。
とびきりのな……。
39—02WM07D

ドラゴン
（あたたかい）
カイム……我らに終幕はないぞ。それでも……おぬしは戦うのだろうな。
39—02WM08D

ドラゴン
（哀れに思う）

結局女神はその純潔を捧げることが出来なかったな……
イウヴァルトにも……おぬしにも。

【59　夜空の下で】

59−02　GG	帝都・祭壇内部（地上）
59−02WM01D ドラゴン （絞り出す）	カイムよ。生きたいのなら……まず我を倒せ!!
59−02WM02D ドラゴン	すまぬ！　カイムよ!!　すべては種の存続の為に……。
59−02WM03D ドラゴン （苦しい立場）	カイムよ！　おぬしの力はそんなものか！ 我へのいらぬ情けは寿命を縮めるぞ？

59－02WM04D
ドラゴン
（致命傷）

ぬうううぅうううう……。この痛み……我が命もここまで……か……。

59－02WM05D
ドラゴン
（静かに）

心臓は元通りだ。我とおぬし、もはや他人よ……。

59－02WM06D
ドラゴン
（悔恨）

すまぬ、カイム。我とて摂理には逆らえなかった……。

59－02WM07D
ドラゴン
（愛の告白）

あぁ、カイム。おぬしの存在は、いつしか我を……

59－02WM08D

ドラゴン
（臨終）

59—02WM09D
ドラゴン
（意味ありげ）

これで……これでよかったのだ。そうだ。カイム……よくやっ……た。

すべての摂理を理解するには……人間の寿命は短すぎる。
知らなくてよいことだ。

【77　真実の行方】

77－02　GA
空中要塞（上空）

77－02WM01D
ドラゴン
（吼える）
この異常な光景！　一体どうなっているのだ!?

77－02WM02D
ドラゴン
（必死に）
退くな！　理由はわからぬ。我の本能がそう告げている。退くな!!

77－02WM03V
ヴェルドレ
（うめく）
あの赤子は何者？　……まるで天使のようだ……。

77－02WM04V

ヴェルドレ
（絶望）

司教を倒せば終わり……ではなかったのか？

77―02WM05D
ドラゴン
（沈痛）

もはや神の理を越えた世界。どうなっているのか誰にもわからぬ。
……神にもな。

77―02WM06V
ヴェルドレ
（発狂寸前）

世界はどうなってしまうのだ？　誰か！　誰か教えてくれっ！

77―02WM07S
セエレ
（しょんぼり）

……僕ら……許されないのかな……

77―02WM08L

レオナール
（うめく）
私は今、目が見えないことを救いに感じています……。

77－03　GG　帝都（地上）※77－03GA（削除）のメッセージ含む

77－03WM01D
ドラゴン
（力強く）
もうおぬしを引き留めるものは何もない。
すべてを焼き尽くしてやろうぞ！

77－03WM02D
ドラゴン
（肯定的に）
殺し合うのが楽しいか？　……ここまで来れば誰も止めぬ。

77－03WM03D
ドラゴン
降りるぞ！　待ち受けるは、異常な光景だ。心してかかれ。

77ー03WM04D
ドラゴン
（叱責）
防御だけではどうにもならぬ。
あの異形のもの倒してここを突破しなくては……

77ー03WM05D
ドラゴン
（カイムに賭け）
殺すことで生きる意味を見出すおぬしこそ、
この世界にふさわしい男かもしれぬな。

77ー03WM06V
ヴェルドレ
（『悪霊退散』的な）
ク・アボーイル・レヴェ・ヴォーレー・セレ・ヴェーイーレー

77ー03WM07L
レオナール
（決然と）
世界が悲鳴に包まれています……

77－03WM08A
アリオーシュ
（楽しそう）
77－03WM09D
ドラゴン

早くあの忌まわしき臭いの怪物を殺さなくては！

子供の焼ける匂いがするわ。くっっくくくく……あっははははは！

待ち受けるは異常な光景か……心してかかれ。

【78　異種の存在】

78—02　GG　帝都近辺（地上）

78—02WM01D
ドラゴン
あの天使のようなものたちを誘って、まとめて倒すしか道はなさそうだな。

78—02WM02D
ドラゴン
大丈夫か、カイム⁉　あとはあの大物を倒せば……。

78—02WM03D
ドラゴン
（自問自答）
倒せたか……？　いや……あの様子ではまだかかりそうだ。

78−02WM04S
セエレ
（半泣き）
ねぇ……レオナールは死んじゃったの？　僕のせい？　僕のせいかな？

78−02WM05S
セエレ
（夢見るように）
あの大きくてコワイやつは……〝時間〟を操るんだよ。

78−02WM06V
ヴェルドレ
（いぶかしげに）
セエレの言っている〝時間〟とはもしや……
〝おおいなる時間〟のことか？

78−02WM07V
ヴェルドレ
〝おおいなる時間〟とは世界を成り立たせている鍵のことだ。
神話の中での話だが……。

78—02WM08S

セエレ

（さびしい）

レオナールは僕のためにいなくなっちゃったんだ。

僕のせいで……みんないなくなる。

【79 覚醒】

79−01 GA
帝都近辺（上空）

79−01WM01D
ドラゴン
まず小物たちを一掃するしかなさそうだ。行くぞ！

79−01WM02D
ドラゴン
（焦り）
我が炎がまるで効かぬとは……。どうすれば……？

79−01WM03D
ドラゴン
（呆然と）
〝時間〟が……壊れる？？？

79−01WM04S

セエレ
（決然と）

あの大きいヤツの〝時間〟を止めちゃえばいい。
僕なら……出来るよ！

79―01WM05D
ドラゴン

次から次へ……キリが無いわ！

79―01WM06V
ヴェルドレ
（半信半疑）

そうか！　セエレの契約を解き、閉ざされた〝時間〟をぶつければ……
相殺できるか？

79―01WM07D
ドラゴン
（いらいらと）

外でごちゃごちゃぬかすでない！
ここでは己の力で生き抜く者しか言葉は持てぬ！

79-01WM08S
セエレ
（必死）

お願い！　僕の言葉を聞いて！　僕がみんなを助けられるんだ!!

【89 回帰】

89－03 GA	新宿（上空）
89－03WM01D ドラゴン	ここは……？ よくわからぬが、今は目の前の敵を倒すしかなさそうだ。
89－03WM02D ドラゴン （パニック）	何なのだ、これは！ どうすればいいのだ？！
89－03WM03D ドラゴン （高揚して）	倒せたか⁉ ついに……我らは神を越えたか……
89－03WM04D	

ドラゴン
（意気揚々）
ここが何処だかわからぬが、まだ我には翼がある!!
89－03WM05D

ドラゴン
（返事して）
そうだな……。ここがどこであろうと、
ヤツが何であろうと、倒すだけだ。
89－03WM06D

ドラゴン
（耳をすます）
未知の音だな……聞こえぬか？
89－03WM07D

ドラゴン
（脱力）
ここにはもう誰もいない。憎む者も、愛する者も……みな消えた。
89－03WM08D

ドラゴン
（嫌な予感）

空がまぶしいのは……〝最後〟に近い景色だからか？

【25　妖精の記憶】

25－01　GA
封印の森（上空）

25－01WM01D
ドラゴン
すでにここまで侵攻しているのか……封印は無事なのか……？

25－01WM02L
レオナール
この匂い……森が！　森が焼かれている？！

25－01WM03L
レオナール
急ぎましょう！　封印されし森が襲われているようです！

25－01WM04L

レオナール
こんなところにまで帝国軍が……やつらの狙いは一体？

25－01WM05P
フェアリー
ウヒャー‼　なんかくせぇー匂いがしてこねーかぁ？！

25－01WM06D
フェアリー
ホンッッッット！　人間ってのは迷惑な生きモンだぜ‼
くせぇしよぅ！

25－01WM07D
ドラゴン
たやすく攻め込まれたものだな。この森に封印などあるものか！

25－01WM08D

ドラゴン　封印されし森はフェアリーが守っているはずだ……
あまり良い噂は聞かぬがな。

25―01WM09L
レオナール　封印は……まだ無事です！　……たぶん。

25―02　GG　封印の森（地上）

25―02WM01L
レオナール　駐屯地に少年兵の部隊……。
（鋭く止める）カイム！　無益な殺生は控えてください！

25―02WM02L
レオナール

25－02WM03L
レオナール

あの怪物たちを少年が操っている……。

カイム！　相手はまだ少年です。くれぐれも手荒な真似は……

25－02WM04B
少年兵
（弱々しく）

た……助けて……

25－02WM05B
少年兵
（哀れに）

おかぁさーん。死にたくないよぅ……

25－02WM06L
レオナール
（せつない）

まだ声変わりもしていない……。こんな幼い子供を兵士に？

25—02WM07B
少年兵
（必死に）
……むごい！

誰か助けて。僕ら何も悪くないんだ！

25—02WM08L
レオナール
（拒否）
私には……出来ません。子供を討つことなど、私には……。

25—02WM09L
レオナール
（必死）
カイム！　話し合えば彼らだってきっと……

25—02WM10B
少年兵
（悲鳴）
お願い、助けて!!　うわあああああ!!

25－02WM11L
レオナール
（懇願）　カイム‼　お願いだ！　これ以上は……もう……

25－02WM12D
ドラゴン
（一喝）　レオナール……おぬし、死にたいのか！

25－02WM13D
ドラゴン
（叱責）　少年だろうが、大人だろうが、兵士は兵士。敵には違いなかろう！

25－02WM14L
レオナール
（取り乱す）　無理です！　私には無理です！
やめて！　やめて！　やめてください‼　来ないで‼

25—02WM15B
少年兵
（断末魔）

いやあああああ！

25—02WM16D
ドラゴン
（呆れて）

カイムよ……いつもながら容赦がないな……。

25—03　EG

未定（地上）※イベントゲーム

25—03WM01D
ドラゴン

不意打ちとは卑怯な……。後悔させてやるぞ！

25—03WM02L
レオナール
（神妙に）

すまない、カイム。私がだまされたばかりに……。

25－03WM03D
ドラゴン

上空にも追っ手がいるようだな……。

25－03WM04P
フェアリー
（意地悪）

フヒャッ！　ちょっくら可愛い男の子だと、
すーぐメロメロねぇ、アンタ。

25－03WM05L
レオナール
（沈痛）

私は……私はっ！　……弱いのです……。

25－03WM06D
ドラゴン

レオナール！　今は倒すことに集中するのだ‼

25－03WM07P
フェアリー
（いじめる）

ざっくり殺しちまえよー。若い男の肉は案外やわらかいって聞くぜ～。
フヒャヒャ！

25－03WM08L
レオナール
（決意）

……やりましょう。ここは……殺し合いの地です。

【26　竜の休息】

26－01　GA	封印の森・森の奥地へ移動しながら(上空)

26－01WM01D
ドラゴン
こざかしい！　一気に葬りさってやるわ！

26－01WM02L
レオナール
（しょんぼり）
まさか……あんな少年が私をだますなんて……。戦いとはむごいものです。

26－01WM03D
ドラゴン
ほぼ一掃したようだな。改めて封印の森へ向かうぞ。

26－01WM04P

フェアリー
（意地悪く）

懲りませんねぇ、アンタ。
この先もそんな調子で生きていけるんでしょうかねぇ？

26—01WM05P
フェアリー
（喧嘩腰）

よぉよぉ！　弟達も浮かばれないよね～。
こんな変態兄貴をもっちゃってさ！

26—01WM06D
ドラゴン
（一喝）

うるさい虫だな！　ひねり潰すぞ！

26—01WM07L
レオナール
（殊勝に）

……何を言われても仕方ありません。私はそれだけの人間です……。

26—01WM08P
フェアリー
（嘲笑う）

こいつはよっ、殊勝なフリして、貪欲！
おまけに魂の髄まで変態なのさっ！

26—01　GG

封印の森・森の奥地へ移動しながら（地上）

26—01WM09L
レオナール

封印の森がこの先にあるはずです。急ぎましょう。

26—01WM10L
レオナール

私のせいで要らぬ戦いを……。申し訳ありません。

26—01WM11D
ドラゴン

（ほっと一息）

ようやく辿りついたか……。また……生き残れたのだな。

26－01WM12P
フェアリー
（バカにして）

本当にこの道であってんのかぁ？
ひょっとしてかわいい男の子を探すために寄り道ですかぁ？　ウヒャ！

26－01WM13D
ドラゴン

この先は我が翼ではゆけぬ。おぬしの足で進んでくれ。

26－01WM14D
ドラゴン

フェアリーよ……貴様、この土地を知っておるのか？

26－01WM15D
ドラゴン

身の程を知らぬ情けをかけるのは人間の悪い癖だな。

26-01WM16P
フェアリー

ありゃ？　レオナールちゃんの欲情癖のせいで
ドラゴン様がお疲れのようだぜ。ウヒャヒャ。

26-01WM15P
フェアリー

フヒャフヒャッ。俺だったら、この先には行かないね！　バーカ。

【28　海蛇の苦悩】

28－02　GA　海上（上空）

28－02WM01D
ドラゴン
（冷静に）
カイムよ。急いで倒さないとあの女も子ども達も命が危ないぞ。

28－02WM02A
アリオーシュ
（夢見心地）
子供……あたしの子供たち……。待ってて……今行くわ。

28－02WM03D
ドラゴン
（バカにして）
他愛もない。もう少し骨のあるヤツはおらんのか？

28－02WM04V

ヴェルドレ
（呼びかけ）

アリオーシュ！　アリオーシュ！　……まさか子供達を？

28－02WM05D
ドラゴン

アリオーシュはどこだっ⁉
この忙しい時に手間をかけさせおって……

28－02WM06V
ヴェルドレ
（不安げ）

エルフの子供達が多数……
アリオーシュの心が乱れても仕方はない……が。

28－02WM07D
ドラゴン
（舌打ち）

あの女……子供を助けるつもりはないらしい。
……あるのは己の食欲のみだ。

28—02WM08V
ヴェルドレ

（言いたくない）

28—02WM09D
ドラゴン

カイム！　アリオーシュを頼んだぞ。
……そして、彼女から子供たちを守ってくれ。

まずは雑魚どもを一掃せねば、女も子供も助けられぬ！
急ぐぞ、カイム‼

【29　漁火】

29—01　GA	海上・海の神殿（上空）
29—01WM01V ヴェルドレ	海上神殿に敵を入れてはならぬ！　死守するのだ！
29—01WM02A アリオーシュ （うっとり）	美味しい……。美味しい子供たち……。
29—01WM03V ヴェルドレ （不安）	神殿は……。神殿は無事なのか……？
29—01WM04V	

ヴェルドレ

海の神殿は３つの封印のうちの重要な１つだ。
決しておとされてはならぬ。

29―01WM05D
ドラゴン
（冷静に）

海にも山にも空にも帝国の勢力が伸びてきている。
連合側に勝機はないかもな。

29―01WM06A
アリオーシュ
（狂っている）

封印、封印、ふう……いん……あはははは っ！

29―01WM07V
セエレ
（素直に同情）

封印がひとつ破られるごとに、女神さまは苦しくなるんでしょう？
かわいそうだよね。

29―01WM08L
レオナール
（気持ち悪い）

アリオーシュが……子供を食べる時の音が……
まだ耳に残っています……。

【31　辺境の巨人】

31－01　GG　山岳（地上）

31－01WM01D
ドラゴン　手間をかけさせおって！　カイム、素早く済ませるぞ！

31－01WM02L
レオナール　セエレ！　大丈夫ですか⁉　セエレ、返事をしてください‼

31－01WM03P
フェアリー　ったく！　なんであのガキは生き残るんだよっ。ゴミのくせによぉ。

31－01WM04D

ドラゴン
マッドゴーレムがいるということは……魔術師も……

31—01WM05S
セエレ
ゴ……レム……

31—01WM06A
アリオーシュ
ふふふ。ちょうどおなかが空いていたところなのよ……。

31—01WM07L
レオナール
あぁ……セエレ……。私の大切な……

31—01WM08P
フェアリー

まだ生きてんのかぁ？　みじめだねぇ……。
人喰い女に食われちまえ!!

31—02　GA　山岳渓谷（上空）

31—02WM01D
ドラゴン
（忌々しい）
こいつらはどこにでもわいて出てくる。子蝿のようにうるさいヤツらだ。

31—02WM02S
セエレ
カイム！　地上にも敵がいるよ！　気をつけて！

31—02WM03D
ドラゴン
次は地上のウスノロゴーレム退治か。やれやれだな。

31―02WM04S
セエレ
妹のマナは母さんによく叩かれてたよ……マナだけ叩かれてたんだ。
いつも……

31―02WM05S
セエレ
（あきらめ）
僕は母さんに叩かれなかったぶん、マナの分まで苦しまなくちゃ。ね？

31―02WM06D
ドラゴン
石を操る種族か……いくら逃げ隠れしようと、
帝国に利用されることにかわりは無いぞ。

31―02WM07L
レオナール
（やさしく）
セエレ……そんなに自分を責めてばかりいてはよくありませんよ。

31—02WM08D
ドラゴン
幼子よ、おぬしが胸に抱く哀しみは〝偽善〟とも呼ばれるのだ。
わかるか？

31—02　GG　山岳渓谷（地上）

31—02WM09S
セエレ
（必死にかばう）
ゴーレムは操られているだけなんだ！　悪くない！
魔術師を倒さなくちゃ！

31—02WM10S
ドラゴン
こいつら……我が炎が効かぬのか？　こしゃくな！

31—02WM11S

セエレ
（弱々しく）
これでこわいゴーレムたちもいなくなったね。

31―02WM12S
セエレ
僕はだいじょうぶだから。ゴーレムを叱らないであげて！

31―02WM13S
セエレ
魔術師のせいで、ゴーレムたちが苦しがってるよ！

31―02WM14S
セエレ
（激白）
マナをいじめる母さん、こわかった……。僕、本当はこわかったんだ。

31―02WM15S
ドラゴン

（同情）　利己的な愛と憎しみを受けて育った子供らに……未来はあるのか？

31－02WM16S
ドラゴン
（やさしく）　セエレ……おぬしの妹が生きておるといいな。

【32　狂気のコロシアム】

32―01　GG

山岳渓谷・奥地・コロシアム（地上）

32―01WM01D
ドラゴン
あの建物に囚われているようだな。

32―01WM02L
レオナール
セエレ……どうか無事でいてください……。

32―01WM03D
ドラゴン
どうやらあの子供はまだ無事なようだ。
カイム、人の為に剣を振るってみよ。

32－01WM04L
レオナール

この辺りは怪物達の居住区です。気をひきしめなければ……。

32－01WM05D
ドラゴン

こんな狭いところでは飛べぬ。おぬしの足で進め。

32－01WM06P
フェアリー

セエレちゃん、今度こそポックリ逝っちゃってるといいデスねー。
ウキャー!!

32－01WM07P
フェアリー

あいつ、バカァ？　何回さらわれたら気がすむのかネー！

32—01WM08A
アリオーシュ

私が助けたら……私のもの？　食べられる？

32—01WM09L
レオナール

私が助けたら……？　な、何でもありません！

32—02　GG

山岳渓谷・奥地・コロシアム（地上）

32—02WM01D
ドラゴン

おまえの力なら難なく倒せる相手だろう。救うための剣を覚えるがよい。

32—02WM02S
セエレ

まだまだいるみたい！　気を抜かないで、カイム！

32−02WM03S
セエレ
（おどおど）
ごめん……カイム。僕の……僕のせいだね……。

32−02WM04D
ドラゴン
（からかって）
どうだ？　人助けのために振るった剣の感触は。

32−02WM05S
セエレ
（悲鳴）
もうやめて！　僕のことならいいんだ。お願いだから逃げて！

32−02WM06S
セエレ
（じめじめ泣く）
うっうっうっ……ごめん……なさい。

32−02WM07S

セエレ
（悲鳴）

助けて！　助けてマナ……母さん……

32－02WM08L
レオナール
（祈り）

セエレ……どうか無事で……。カイム、しっかり頼みます！

32－02WM09V
ヴェルドレ
（驚き）

あのカイムが……誰かのために剣を振るとはな……。

【99―01（汎用台詞）】

99―01WM01C
カイム

我が名はカイム！

99―01WM02C
カイム
（絶叫）

おのれえええええっ！

99―01WM03C
カイム

許さんっ!!!

99―01WM04C
カイム
（絶叫）

うりゃあああああああっ！

99－01WM05D
ドラゴン

ここに用はないぞ。　引き返せ！

99－01WM06D
ドラゴン
（重々しく）

星空が本来明るいものであることを……人間は忘れてしまうようだな。

99－01WM07D
ドラゴン
（重々しく）

己の身の丈を知る者は少ない。
はかりを持っていることで安心してしまうのだ。

99－01WM08D
ドラゴン

大きな失敗を恐れる者は愚かよ。
停滞を生むのは、日々の小さなつまずきの方だ……。

99—01WM09—
イウヴァルト
(ぽつりと)

もう歌は忘れた……。

99—01WM10—
イウヴァルト
(魂の叫び)

俺は……本当にフリアエを愛しているんだ！　心の底から!!

99—01WM11—
イウヴァルト
(聞きづらい)

カイム……おまえ、本当はフリアエと……？　いや、何でもない。

99—01WM12—
イウヴァルト
(壊れかけて)

ががガ……ガガ。カイム……憎イ。殺ス。愛……ア・イのたメ？

99—01WM13F

フリアエ
（あきらめ）
私は……みなさんの言う通りで結構です。

99-01WM14C
フリアエ
（感情やや込め）
兄さん！　……死なないで。

99-01WM15F
フリアエ
（小さな決意）
世界は存続するべきです。この身を焼き尽くそうとも、守ります……。

99-01WM16F
フリアエ
（愛の告白）
私の身体はもう私ひとりのものではないけれど……もし兄さんが……

99-01WM17V
ヴェルドレ

ここに用はないはずだが？　何をする気だ？

99－01WM18V
ヴェルドレ
（取り乱す）
ひっひっひいいいいいいっ！　神よ！　救いたまえ！　許したまえ‼

99－01WM19V
ヴェルドレ
3つの神殿、そして女神。この4つの封印こそが世界の礎なのだ。

99－01WM20V
ヴェルドレ
（泣き言）
私はただの神官長に過ぎないんだ。こんなの……荷が重すぎる！

99－01WM21L
レオナール
ここに用はありません。引き返しましょう。

99—01WM22L
レオナール

どうせ一度死んだ身……。
いつ何処で朽ち果てようとも悔いはありません。

99—01WM23L
レオナール
（自問）

罪は人を生きる道へと導くものなのでしょうか？

99—01WM24L
レオナール

ラウム、リベサル、ルーキフーゲ……弟達よ、すまぬ。

99—01WM25A
アリオーシュ
（狂って）

美味しいモノはどおれ？

99—01WM26A
アリオーシュ
（狂って）

あはははははっ！　きれーい。

99—01WM27A
アリオーシュ
（つぶやく）

お腹空いたわ……。

99—01WM28A
アリオーシュ
（必死で）

……私の……子供はどこっ⁉

99—01WM29S
セエレ
（無邪気に）

〝ちいさい勇者さま〟はねぇ、
いつもみんなに感謝されるんだよ。いいなぁ！

99－01WM30S
セエレ
（けなげに）
僕はだいじょうぶ。ゴーレムが一緒だもん。

99－01WM31S
セエレ
（おずおず）
僕、がんばるよ。だから……好きになってくれる？

99－01WM32S
セエレ
カイム！　誰かのことをぶっちゃイヤだよ。泣かせるのは……ダメだよ。

【イベントゲーム用台詞】

03—03　EG　砦・内部

03—03EG01D　ドラゴン

城内に急げ！　猶予はないぞ

3—03EG02D　ドラゴン

城内が不穏だ。急ぐがよい！

03—05　EG　城・最上階の一室

03—05EG01I　イウヴァルト

カイム！

04-01 EG
夜営キャンプ地

04-01EG01F
フリアエ
私は生き抜かなければならないのでしょう？　封印として……。

04-01EG02F
フリアエ
エルフ達に迷惑を掛けなければ良いのですが……

04-01EG03F
フリアエ
兄さんやイウヴァルトと行動を共にするのは久しぶりね……。

04-01EG04E
兵士1
坊ちゃん……いえ、カイム様、私はどこまでもお供しますぞ。

兵士1　041-01EG05E

世が世ならカイム様は王家を担うお方……、不憫ですぞ。

兵士1　041-01EG06E

先代から仕えてきたこの身、カイム様にお預けします。

兵士2　041-01EG07E

カイム様の連隊で生き残っている者は我々だけです……。

兵士2　041-01EG08E

女神のお姿を拝めるなんて……ありがたいな。

041-01EG09E

兵士2
いつのまに帝国軍はあれほどの力を……？

兵士3 04－01EG10E
うぅ……母さんは無事なんだろうか……うぅぅぅ

兵士3 04－01EG11E
エルフの里に着いたら除隊させて下さい。
僕はカイム様のようにはなれません。

兵士3 04－01EG12E
目をつぶると血みどろの首が……うぅぅぅ、これが戦なのか……。

04－04 EG
エルフの里・入り口付近

04-04EG01D
ドラゴン

エルフの里はもうすぐだが……油断するな。

04-04EG02D
ドラゴン

もうじきエルフの里に着くぞ。

06-04 EG

妖精の谷・奥地

06-04EG01L
レオナール

ラウム、リベサル、ルーキフーゲ……弟達よ……

06-04EG02L
レオナール

……視える……地獄の炎が視える……。

07—01 EG　砂漠

07—01EG01D
ドラゴン
この辺りに女神が隠れているはずだ。

07—01EG02D
ドラゴン
女神を探せ。妹の匂いを忘れたか?。

07—04 EG　捕虜収容所・外

07—04EG01E
捕虜1
ありがとうございます!　助かった!!

07—04EG02E

捕虜1

あなたがカイム隊長ですか？　ずいぶんお若いんですね……。

０７－０４ＥＧ０３Ｅ
捕虜2

もうダメかと思ってました……。
助けてくれてありがとうございます。

０７－０４ＥＧ０４Ｅ
捕虜2

帝国軍のやつらはまるで何かに取り憑かれているようですよ。あの眼……

０７－０４ＥＧ０５Ｅ
捕虜3

あなたは命の恩人です！　次に連隊を組む時はぜひ私を入れて下さい！

０７－０４ＥＧ０６Ｅ

捕虜3

神官長まで捕らえられていたとは……。

08—03　EG

砂漠の神殿・内

08—03EG01D
ドラゴン
砂漠の神殿はこの向こうだ。道は自分で作るしかないぞ。

08—03EG02D
ドラゴン
砂漠の神殿へ向かうのだ！

08—05　EG

砂漠の神殿・内

08—05EG01V
ヴェルドレ

08-05EG02V
ヴェルドレ
やれやれ。女神に何と説明すればよいものか……。
女神とて人間……元許嫁が戻らぬことに心を痛めぬはずがない。

08-05EG03E
兵士1
フリアエ様が砂塵にまみれるなど……痛ましいことです。

08-05EG04E
兵士1
カイム様にフリアエ様……

08-05EG05E
兵士1
なぜ王家の人間ばかりがこのような苦境に……

08-05EG06E
兵士2
先代が生きておられたら、この状況を見て何とおっしゃるか……

08-05EG07E
兵士2
女神を守って、隊員のひとりが死にました……。

女神が無事で何よりです……本当に。

13-04 EG
帝国領土

13-04EG01E
兵士1
やりましたぞ！　カイム様！

13-04EG02E

兵士1

先代もさぞや喜んでいることでしょう！

13－04EG03E
兵士2

正義は勝つんだ！　やったぞ！！

13－04EG04E
兵士2

サイクロプスがなんだ！　団結力の勝利だ！

13－04EG05E
兵士2

やりましたね、カイム様！

13－04EG06E
兵士3

赤い眼の化け物になんか負けるか！

13-04EG07E 兵士3
俺達の勝利だ！　カイム様、やりましたね！

13-04EG08E 兵士4
勝った！　勝ったぞ！！　ざまあみろ！！

13-04EG09E 兵士4
連合軍の底力を見せてやったわ！

13-07　EG　帝国領土・丘陵地帯

13-07EG01E

兵士1

カイム様、この剣を……。先代から私が賜ったものです……。
お使い……ください。

13-07EG02E

兵士1

この剣を差し上げます。どうか私の仇を……。

13-07EG03E

兵士1

あぁ……先に逝くことをお許しください。

13-07EG04E

兵士2

さ……裁きって何だ？　あれは一体……

13-07EG05E

兵士2

い、いやだ……まだ死にたくないよ……。

13-07EG06E

兵士3

眼が……眼が見えない……耳も聞こえない……カイム様？

カイム様、どこですかっ？

13-07EG07E

兵士3

俺は……地獄に堕ちたのか？

13-07EG08E

兵士4

……助け……て……

13-07EG09E

兵士4

バカな……人間の限界を……超えてるぞ……

13—07EG10E
兵士5

カイム様……後は……お願いします……

13—07EG11E
兵士5

うぅぅ……帝国軍の……仕業なのか？

38—01　EG

帝都周辺・卵周り

38—01EG01D
ドラゴン

奴を追うのだ！

38−01EG02D
ドラゴン

ぐずぐずするな！　奴は危険だ！！

59−01　EG

帝都祭壇・内部

59−01EG01D
ドラゴン

最後の扉を開けるのはやはりおぬしか……。

59−01EG02D
ドラゴン

我らの間の河は埋まらぬということか……。

59−01EG03D
ドラゴン

よく見るのだ。おぬしの眼に我を焼きつけよ。

25—03 EG
封印の森・帝国軍駐屯地

25—03EG01D
ドラゴン
少し騒ぎすぎたな。上空にも集まってきたようだ……。

29—02 EG
海の神殿・内

29—02EG01A
アリオーシュ
きれいな絵……きれいな、きれいな……

29—02EG02A
アリオーシュ
ひとおつ、ふたあつ、みいいっつ……

■A路

＿＿＿　分かち合う魂

世界の手綱を帝国軍が握ろうとしていた。長い期間、連合軍と勢力を二分してきた帝国軍であったが、最近、異常なほどに強大な存在になったのだ。その強さの理由は、謎に包まれていた。

帝国に滅ぼされた小国の元王子カイムは自ら志願して連合軍の戦士をしていた。謎の強さをまとった帝国軍との戦いのさなか、自軍の城が攻め込まれていることを聞く。城には、封印を保つことを義務づけられた女神フリアエがかくまわれていた。フリアエはカイムの実の妹である。世界の財産である女神というよりは世界にただひとりしかいない実の妹を守るために、カイムは単身乗り込んでいく。

カイムは城門を突破したものの深手を負った。生き残るため、ドラゴンに契約をもちかける。契約をすれば身体の機能をひとつ失うことになるが、命は助かる。両親を殺したドラゴンの同族の者に頭を下げるのは忍びないが、背に腹はかえられなかった。

ドラゴンもまた帝国軍に捕らえられ、不本意な傷を負わされていた。このままでは命が危ういのはカイムと同じである。

カイム　　もう一度だけ聞く。
おまえに生きる意志はあるのか？　ないのか！？

ドラゴンは人間に服従することを良しとしない誇り高き種族ではあったが、「生きる」ため、カイムの誘いに甘んずる。

こうして、ドラゴンとカイムは互いの心臓を交換し、契約した。その命は一蓮托生となった。

＿＿＿　交錯する想い

契約によって声を失いつつも、カイムはフリアエを助け、その場にかけつけた幼なじみイウヴァルトと共に安全な土地、エルフの里を目指す。

ところが、エルフの里は帝国軍によって滅ぼされた後だった。永世中立を認められているはずの里を襲うなど、常識では考えられない。カイムは常軌を逸した帝国軍の行動に何かキナ臭い秘密があると睨み、フリアエをイウヴァルトにまかせ調査を進める。フリアエ達は一足早く神官長ヴェルドレの元へ向かった。ヴェルドレもまた契約者である。

ドラゴン　　『……天使を語ってはならない。
天使を描いてはならない。
天使を書いてはならない。
天使を彫ってはならない。
天使を歌ってはならない。
天使の名を呼んではならない。
……なんだ、これは！？』

帝国軍の死体のそばに血文字で書かれた謎の詩。帝国軍の急な強大化の影にあるモノはどうやら『天使の教会』であるらしい。　しかし、『天使の教会』は詩にある通り、教団がある場所はどこなのか？　主催者は誰であるのか？　どんな宗旨を持つのか？　いっさいが謎に包まれた存在だった。

謎の教団の影が背後に見える帝国軍は、領土拡大や政権争いよりももっと厄介な目的を持って剣をふるっているのではないか？　カイムは嫌な予感がした。その予感に追い打ちをかけるように、ドラゴンが叫ぶ。『ヴェルドレの“声”が……途切れたぞ！』

叫び

フリアエとは砂漠で無事再会出来たが、彼女をかばったイウヴァルトとヴェルドレは帝国軍に捕まってしまっていた。
カイムとドラゴンは捕虜収容所を襲撃し、ヴェルドレを無事奪還する。ヴェルドレの口から帝国軍の目的が明らかにされた。

ヴェルドレ	……帝国軍は国への介入に飽きたらず、 もっと根本的なところから創造しなおそうと しているようです。
ドラゴン	『……世界か？』
ヴェルドレ	はい……封印がすべて解けた時に 出現すると言われている“再生の卵”…… 彼らの狙いはそれでしょう。 だから最終封印である女神の命まで……

一方その頃、何者かによってイウヴァルトに“洗脳”が行われていた。
幼い頃からフリアエへ過剰な愛をささげ、それゆえにフリアエの兄カイムに対する異常なコンプレックスを抱き続けてきたイウヴァルトの弱き心は、たやすく落ちてしまう。
イウヴァルトはカイムと同等の力を手に入れるため、カイムの両親を殺したブラックドラゴンと契約する。そして“敵”としてカイムと剣を交え、フリアエをさらっていくのだった。

帝国の脅威

帝国軍は次々と世界の封印を破壊していく。最終封印であるフリアエもイウヴァルトの手に渡ったままだ。カイム達は遅れをとりつつも着実に追いつめていき、世界のどこかに『天使の教会』の要塞が存在することを突き止める。
旅の途中で、契約者の仲間も集まった。悔恨と絶望の隠者 レオナール、狂気のエルフ アリオーシュ、無垢なる悲劇を背負う孤児 セエレ、それぞれ平坦ならぬ人生において地獄を見た者達ばかりだ。

カイム達一行は要塞の手がかりを求めて帝国領土にたどり着いた。そこでは、連合軍、帝国軍による大規模な肉弾戦が今、始まろうとしていた。
雄叫びと共に剣がうなる。カイムもまた血塗られた怒りの虜となる。
そんな人間の戦いを嘲笑うかのように、天から降り注ぐモノがあった。未知の攻撃は爆弾以上の破壊力を持ち、人間達を圧倒した。両軍の勝敗など意味がなくなる。阿鼻叫喚の巷と化した地上からはばたき、カイムとドラゴンは天を目指した。

→ここから、物語はD路へ分岐します。

——— 定め

ぶあつい雲を突き抜けると、空中要塞があった。ついに、カイム達は『天使の教会』の尻尾をつかまえたのだ。要塞の中に、フリアエを連れたイウヴァルトもいた。

イウヴァルトとの一騎打ちに勝ち、カイムは空中要塞へ潜入する。そこで、『天使の教団』の司教であり、すべての破壊を引き起こした元凶、マナを見つける。しかし時すでに遅し。フリアエの血は流れた後だった。すなわち封印は解かれ、世界は崩壊へと向かっていた。

カイムはただひとりの肉親、妹の死に錯乱する。ドラゴンの“声”が響いた。

ドラゴン　『カーイム！　しっかりしろ！！
次の手を打たねば世界が滅びるのだぞ？
個人の無念はひとまずこらえよ』

→ここから、物語はＢ路へ分岐します。

——— 閉じた魂

マナが一足早く逃げ去る。行き先は、廃墟と化した帝都であるらしい。そこには再生の卵が続々と発生しており、あらゆる種族は生存本能に突き動かされ、“ノアの箱船”に乗る権利を巡って争っていた。

エンシェントドラゴンと戦いながら、ドラゴンは人間のカイムを認めている自分に気付く。カイムにとっても同じことが言えた。彼らは戦いを重ねるうちに、契約を超えた“パートナー”となっていたのだ。

帝都の祭壇で、最後の敵マナを倒す。我に返ったマナは、自らの罪の大きさに怯え、殺されることを願うが、カイム達は聞き入れない。生きて、無数の人々の憎しみにさらされ続けるという形で、彼女は罪を償っていかねばならないと考えたからだ。

ヴェルドレは死んでしまったフリアエに代わり、新たな女神を立てることで世界の崩壊を止めようとする。ドラゴンが進み出た。人間のために、カイムのために、封印となることを決意したのだ。

それは、ドラゴンとカイムの永遠の別れを意味していた。

ドラゴン　『おぬしに……覚えておいて
……もらいたいこと…・・が……ある。』
『アンヘル……それが我の名だ。』

ドラゴンは去り、人間達が残される。

マナの姿を借りて、世界ごと人間を滅ぼそうとしていた本当の敵は、“神”ではなかったろうか？　人間はそこまで憎まれているのか？　答えは闇の中だ。

ヴェルドレ　神よ……
それでもあなたは、我々に生きろとおっしゃるか？

→A路　エンディング

■B 路

→（A路　定め）まで省略

______ 悪魔の翼

カイム達が去った後、イウヴァルトが歩み出る。見てはならないものを見て、彼の目が開かれる。フリアエが死んだ？　皮肉なことに、そのショックがイウヴァルトを洗脳から解き放った。

自分は封印を解く運搬道具として利用されただけ。ならば、自分がフリアエを殺したようなものだ……真実を知ったイウヴァルトの心は、悔恨と怒りと自尊心の崩壊によって狂ってしまった。

もはや封印としての機能を終え、誰も見向きしないフリアエの死体を抱くと、イウヴァルトは口づけをした。

イウヴァルト　　フリアエ……。俺の許嫁……。
やっと俺だけのものに。
もう誰にも……渡さない！！

イウヴァルトは女神復活という奇跡を求めてブラックドラゴンを駆り、再生の卵を目指す。

→ここから、物語はC路へ分岐します。

______ 邂逅

そんな彼を正気に返らせようと、カイムとドラゴンが追ってきた。彼らの説得も愛の狂気に捕らわれたイウヴァルトにはきかない。

カイム達から逃れ、イウヴァルトはついに再生の卵にフリアエを入れてやる。これできっと蘇ってくれる！

果たして、フリアエはたしかに蘇った。殺人生物として……。再生の卵は人間を生かすものではなく、殺すための“奇跡”だったのだ。

イウヴァルトは彼女の最初の犠牲者となる。希望を打ち砕かれて死んでいきながらも、彼の瞳は最期までフリアエを映していた。

カイムには実の妹の姿をした“敵”と戦うという、むごい任務が残された。心を凍らせて、彼は討つ。

しかし、ひとり討ったところで世界の崩壊と彼の悲劇は止まらない。振り仰げば、無数の女神が空を埋め尽くしているのだった。人間を殺すために。カイムを殺すために。

ドラゴンのつぶやきが預言のようにカイムに響く。

ドラゴン　　『……人間は決して赦されないのだ。』

→B路　エンディング

■C路

→（B路　悪魔の翼）まで省略

＿＿＿＿　夜空の下で

　イウヴァルトは死んだフリアエの復活を目指し、帝都までやって来た。カイム達に追いつかれると、幼子のように怯える。結局、彼は愛の欲しいわがままな子供のままだった。
　イウヴァルトはフリアエの安らかな眠りすら奪おうとしている。カイムはたまらず、ブラックドラゴン共々イウヴァルトを倒した。
　最期の瞬間、イウヴァルトはフリアエのそばで逝きたいと懇願する。カイムは許した。イウヴァルトは安らかな微笑みを残して死んだ。

イウヴァルト　　あぁ……しあわせだ……。

　この間にマナが帝都祭壇に逃げ込んだことを、ドラゴンが察知する。カイム達が到着するより早く、再生の卵の前でマナはドラゴンの群れによって虐殺されていた。
　惨状を見たドラゴンはカイムに契約解消を言い渡す。卵を前にした時、ドラゴンはカイムの敵にならざるをえない。なぜなら、ドラゴンという種族は人間を淘汰する摂理のもとに生まれた生物であったから……。本能が戦いを選んだのだ。
　こうして、哀しい生存競争が始まった。ドラゴンの心が自分の負けることを願う。

　カイムはドラゴンを倒す。つらい別れになった。しかし、カイムに膝をつく余裕はない。祭壇の外ではドラゴンの群れが新たな獲物を求めて待機している。
　カイムは再生の卵を睨む。こんな卵があるから自分はドラゴンと別れることになったのだ、と思う。そして、剣を抜くと斬りつけた。何者かが用意した得体の知れぬモノに運をまかせるのはやめ、自らの力で生き延びる意志を見せたのだ。それはドラゴンとの約束でもあった。
　カイムは今、たったひとりで生きる戦いを始めようとしている。

→C路　エンディング

■D路

→（Ａ路　帝国の脅威）まで省略

＿＿＿　夢と現実

一旦は、上空を目指したカイムたちだったが、途中でレオナールからの連絡が入る。フリアエが海上要塞にいるらしい。カイム達は目的地を空から海へと変更した。

海上要塞に張られた結界を壊し、侵入する。敵を蹴散らしつつ進んだが一足遅く、フリアエは空中要塞に転移した後だった。

カイムはフリアエを追って辿り着いた空中要塞で、『天使の教会』の司教マナを見つける。すべての元凶を断ち切るべく、彼女を追いつめる。

マナは神に愛された自分に酔いしれ、狂気は去る気配がない。双子の兄であるセエレの言葉も聞かなかった。

セエレ　　ごめんね、ごめんね、許して、マナ……。
……助けて……ゴーレム……

セエレの契約パートナーであるゴーレムは、セエレが暴力をふるわれたことに怒り、マナを殺す。

すると、世界が激しく振動をはじめた。封印が解かれなかったにも関わらず、世界をつなぎとめていたタガが外れてしまったようだ。“おおいなる時間”が乱れている。

マナに“神”が降りていたのは本当のことなのだろうか？　神を殺した後、世界はどうなるのか？　人間達は怯える。

その時、世界に“天使”が現れた。しかし、彼らは救世主ではない。隕石のように重く、破壊力を持って降り注ぎ、地上を壊した。

常識を超えた戦いが始まる。人間達に勝ち目はなかった。アリオーシュ、レオナール、仲間も次々と死んでいく。明らかに、天使達は人間が対処出来ない能力で人間を食いつぶそうとしていた。

ヴェルドレ　　狂ってる……狂ってるのだ、何もかも。
おぉ……ここは地獄か？
レオナール　　現実ですよ。

→ここから、物語はＥ路へ分岐します。

＿＿＿　真実の行方

万策尽きた時、セエレが進み出た。彼は契約によって自分に流れる“時間”をなくした（不老）人間だ。セエレは“天使”が“おおいなる時間”を狂わせている張本人だと語り、時間を持たない自分こそが唯一の対抗手段であると主張した。明らかに危険な提案だが、もはや他に頼る手段もない。

ドラゴンはカイムとセエレを乗せて、天使の元へ向かう。

セエレの読みは当たり、天使はセエレと融合し消滅する。“おおいなる時間”の暴走が止まる。

セエレ　　これで……許してくれる？　マナ……。

こうして、愛してくれる者をすべて失った孤児は数え切れぬ地獄の中、最期まで清らかな心のまま救世主となった。

→Ｄ路　エンディング

■E路

→（D路　夢と現実）まで省略

＿＿＿　回帰

カイムとドラゴンは、ブラックホール状になった天使の腹へ入ることを決意する。常識を超えた戦いにマニュアルはない。懐に飛び込むしかなかった。

ドラゴン　『そうさな……虎の子を見つけたくば、
　　　　　虎の巣に入るしかなかろう』

彼らは最後まで希望を捨てつつも、運を天にまかせた。

そして、カイムとドラゴンは見慣れない世界へたどり着く。ここが神の国なのか？
彼らはわからないまま、目の前の天使を倒す。

勝利に喜び、そして世界を救えたことに安堵していると、不意に激しい衝撃と光が襲う。次にあるのは闇。カイムもドラゴンも二度と目を開くことはないだろう。

戦闘機　「こちらスカーフェイス。目標に命中。
　　　　正体は依然不明。落下した模様。」

平和な昼下がり、東京タワーに串刺しになるドラゴンを人々は映画でも観ているような感覚で眺めていた。
ここが神の国なのか？　カイムの問いには誰も答えられないままだ。

→E路　エンディング

■用語解説

連合軍
帝国軍（天使の教会）に対抗するためのヨーロッパ諸国連合。
主人公のカイムもここに所属する。

帝国軍
E.U.以外の勢力。
『天使の教会』という謎の教団がつき、モンスターと契約してからは猛威を振るうようになった。

女神
“おおいなる時間”（時間と空間と次元）を現世界の正しい時間につなぎとめているクサビ（封印）。
あらゆる時代にただひとりのみ、存在する。
前の女神が死んだ時にオシルシが現れた者が有無を言わせず次の女神と認定される。

一度認定されてしまったら、一生市井の生活には戻れない。
ふだんの生活は幽閉状態。世間とは隔絶されて過ごす。
民間人とは交わらないため、神官長（ヴェルドレ）が代表でこまごまとした世話をしている。
ただし、戦乱の世となってからは流浪の旅、民間人との接触を余技なくされている。

神官長
民間人と触れ合うことを禁じられた女神が唯一、接触できる相手。

封印
世界には３カ所の封印場所（聖地）と１人の最終封印が存在する。
封印場所は森・海・砂漠の神殿。最終封印は女神である。
最終封印までもがすべて解かれてしまうと、世界は滅亡すると言われている。

ドラゴン
神が作り出した「掃除機」。生存競争のシード選手。
優良種を生き延びさせてゆく神の計画の番人という役割。
ゆえに誇り高く、「神の失敗作」人間に関しては冷たいのが基本。

ドラゴンが生存競争で一番強い生き物であることを、モンスター達は本能的に知っている。
むろん、ドラゴン種族自身も知っている。
ただ人間族のみ、愚かにも「自分達が一番強くなりうる」という幻想のもとに
様々な技術進化を遂げてきた。

カイムとつながったドラゴンは、生存への最終局面において本能と理性の戦いを強いられる。

契約
人間の負の感情が、人間以外の生物を呼び寄せる。
彼らの（またはどちらか一方の）利害が満たされた時、
心臓を交換し、生死を共にする運命共同体となる。
人間は契約の代償として身体の器官か機能をひとつ失う。

契約者
他の誰よりも「生き残りたい！」という生存本能の強い人間は「契約」という生存手段を
とることが多い。つまり、エゴの強い人間こそが「契約者」になる。
見苦しいほど生に執着している者こそが「選ばれし者」なのだ。
フェアリー等、人間以外の契約者は、そんな人間の負の感情に惹きつけられて行動する。

神
エゴだけ強い不穏な失敗作「人間」を抹殺したがっている。
ドラゴンをはじめとするモンスター全般の本能には、そんな神の意志が反映されている。
唯一、人間だけが神の操作できない突然変異的生物。

卵	封印が解かれると、世界に発生する「世界の破滅から人間を守る装置」……神話に登場する“再生の卵”はそう描かれている。 実際は、神が作り出した「人間抹殺装置」以外の何者でもない。
天使の教会	教団の場所。主催者。教義。いっさいが秘められた謎の教団。
天使	全てが不明
赤い眼	天使の教会に洗脳された人間やモンスターは眼が赤くなる。
おおいなる時間	しかるべき場所におさまった「時間」「空間」「次元」のこと。 世界がきちんと動くのはおおいなる時間があるからだ。 女神やセエレはこれをつなぎとめ、天使の教会は壊そうとし、天使は無に帰す。

■人物



カイム

性別：	男性
年齢：	２４歳
契約モンスター：	レッドドラゴン
失われたもの：	言葉
紋章の位置：	舌

Ｅ．Ｕ.小国の元王子。帝国軍と彼らが持っていたドラゴン（ブラック）に両親を殺され、国は崩壊。
その後、妹に女神の“おしるし”が出て、家族も崩壊。
復讐の鬼。誰かのための復讐ではなく、おもに自分のため、自分の怒りを鎮めるため、殺しまくる。
しかし、あくまで大義名分として「両親の仇」「妹の運命への憐れみ」をあげている。



イウヴァルト

性別：	男性
年齢：	２０歳
契約モンスター：	ブラックドラゴン
失われたもの：	歌
紋章の位置：	首

カイムの小国に出入りしていた貴族の息子。カイム、フリアエとは幼なじみ。
カイムにはいつもコンプレックスを感じて育ってきている。
ハープをかきならし歌う美声の持ち主。
何事も純粋にまっすぐ受け止めるが、心が弱く、支えきれない。
すぐにおたつき、ダメになる。
ダメになった時、何かにすがらずには生きておれない。
一番の頼りは、許嫁であったフリアエ。
彼女が女神となり、許嫁としての関係が崩壊した今も固執している。ゆがんだ愛。



フリアエ

性別：　女性
年齢：　１９歳

兄と許嫁に大切にされてきたごく普通の少女。１４歳の時に女神の
“おしるし”が出てから人生が変わった。
己の運命、己をつらい目に合わせる世界を呪い続けるが、
女神という職の重圧がその気持ちに蓋をする。
自由のきかない生活は、彼女にすべてをあきらめさせた。
生への執着がないので、世界を救おうという気持ちもない。
ただ淡々と女神のノルマを果たすだけ。
兄への思慕や自分の醜い気持ちを”ないもの”として生きている。



マナ

性別：　女性
年齢：　6歳

実母に虐待を受けて育った。双子の兄であるセエレのみ可愛がる母親を
それでも愛している。セエレのことは憎んでいる。
愛に飢えた彼女は神にすがる（瀕死の瞬間、神の姿を見たのかもしれない）。
子供らしい純真さで、マナは神の愛を勝ち得れば、母の愛も手に入ると信じこんだ。
以降、恐怖のカリスマ司教として盲目的に「天使の教会」を突き進める。
どんなにひどい殺戮も「わたしは神に愛されてる」と信じて実行。
言うなれば、母の愛を得たいいじましい子供心を神に利用されたと言える。



ヴェルドレ

性別：　男性
年齢：　７２歳
契約モンスター：　石化したドラゴン
失われたもの：　毛
紋章の位置：　頭部

女神と直接話すことが出来る唯一の職、神官長をつとめてきた。
軍隊からは離れたところにいる実力者。
普段は「きれい事」ばかりを並べ立てる聖職者。
しかし、ギリギリの状態になると、自分の保身のみに走る利己主義な面が浮き彫りになる。



セエレ

性別：　男性
年齢：　6歳
契約モンスター：　ゴーレム
失われたもの：　時間
紋章の位置：　全身

母から偏愛されてきた子供。それを心地良く享受し、
マナを思いやれなかった自分を罰する気持ちが強い。
どんなに理不尽な暴力にさらされてもじっと耐えるのは、そのせいか？
「いい子」の行動しかしないが、その意識の底に「かわいそうな自分」を確認して、
罪の意識から逃れようとしているところが透けて見える。
それでも、基本的にまだ子供であり、契約相手のゴーレムを
「友達」と言い切る無邪気な面を持ち合わせている。



レオナール

性別：　　男性
年齢：　　３２歳
契約モンスター：　　フェアリー
失われたもの：　　視力
紋章の位置：　　眼球

礼儀正しく、戦いを避けるまっとうな神経の持ち主。
そのまっとうさゆえ、己の性癖については人一倍悩みが多い。
このゆらぎに、フェアリーがつけ込んでいる。
セエレへの愛情は深く、敵はもちろんアリオーシュからも守りぬこうとする。



アリオーシュ

性別：　　女性
年齢：　　２４歳
契約モンスター：　　ウンディーネ、サラマンダー
失われたもの：　　子宮
紋章の位置：　　下腹部

エルフの主婦だったが、帝国軍（天使の教会）に亭主と子供を惨殺され、精神を病む。
以後、子供達ばかりを標的に数々の惨殺事件を引き起こす。
精神が完璧に崩壊しており、殺戮に良心は痛まない。
カイムのように殺人の理由に大義名分を置くこともなく純粋に楽しみを見出している危険人物。
目下のところ、狙いはセエレに向いている。